


◆ 静止画（写真）撮影

1 ホーム画面で[カメラ・ビデオ]

静止画の撮影画面が表示されます。

- ホーム画面で  ボタンを長く押ししても静止画の撮影画面を表示できません。
- 起動時に保存先を切り替える確認画面が表示された場合は、[切り替えなし] / [切り替える] をタッチします。

2 撮影画面に被写体を表示し、ピントが合ったら (シャッターボタン) をタッチまたは ボタンを押す

シャッター音が鳴り、静止画が撮影され、保存されます。

- 撮影した静止画を確認するには、撮影画面で [メニュー] ▶ [撮った写真を見る] とタッチします。

3 [戻る]

カメラを終了します。

✓お知らせ

- 撮影した静止画は、JPEG（拡張子「.jpg」）のファイル形式で保存されます。
- 静止画撮影時のズームは、いずれの撮影サイズも最大約6.0倍（80段階）です。内側のカメラはズームに対応していません。
- スマイルムービー機能により、人の顔を検出したときに、同時に動画をアルバムアプリへ自動保存するように設定されています。→p.80

◆ 静止画（写真）の撮影設定

静止画撮影画面で [メニュー] をタッチすると、次のメニューを操作することができます。

- 内側のカメラでは設定できない項目があります。
- 他の機能から連携してカメラを起動したときには、設定できる項目が異なる場合があります。

■ 残り撮影可能枚数表示

メニュー画面の左上に、設定している保存先の空き容量で保存できる残り撮影可能枚数の目安が表示されます。保存先の空き容量、撮影サイズにより残り撮影可能枚数は変化します。

■ 動画

動画の撮影画面に切り替わります。

■ 便利機能

[panorama] / [QRコード] / [拡大鏡] のいずれかをタッチして撮影モードを切り替えます。

■ 内／外カメラ切替

外側のカメラと内側のカメラを切り替えます。




■ 撮影サイズ

静止画の大きさ、撮影サイズを設定します。



- 撮影サイズについて詳しくは、「主な仕様」をご覧ください。→p.127
- お買い上げ時は、[9Mワイド 16 : 9]（外側のカメラ）、[3Mワイド 16 : 9]（内側のカメラ）に設定されています。

■ フラッシュ

フラッシュの設定を、オフ／オート／オンから選択できます。オートに設定すると、暗い場所と判断された場合に自動的にフラッシュが点灯します。[オン] に設定すると、周囲の明るさに関係なくフラッシュが点灯します。

- オンの場合は、静止画撮影画面に  (フラッシュボタンオン) が常時表示されます。オートまたはオフの場合は、暗い場所と判断されたとき静止画撮影画面に  (フラッシュボタンオート) または  (フラッシュボタンオフ) が表示されます。表示されたアイコンをタッチして、オート／オン／オフを切り替えることもできます。
- [HDR撮影] を設定した場合にはフラッシュは点灯しません。また、夜景撮影の際は場所によって点灯しない場合があります。

■ その他

位置情報：撮影した画像に位置情報を付加するように設定します。位置情報を付加するように設定した場合、位置情報を取得中は、取得するとのアイコンが撮影画面に表示されます。

保存先切替：撮影データの保存先（SDカード／本体）を選択します。

- 選択した保存先の空き容量が足りなくなったときは、その旨を表示して一時的に保存先を切り替えます。

HDR撮影：撮影時に露光時間が異なる（長時間露光と短時間露光）2枚の画像を撮影して、白飛びや黒つぶれを抑えた静止画を作成します。

タイマー：シャッター操作をしてから2秒後／10秒後に撮影されるように設定します。

- 撮影画面でシャッターを押すと、セルフタイマーの進行がわかるようにカウント音が鳴ります。
- タイマーのカウント中にシャッターを押すと、タイマーをキャンセルして撮影・保存されます。

タッチシャッター：撮影画面の被写体にタッチして、ピントが合うとオートフォーカスロック音とシャッター音が鳴り撮影するように設定します。

スマイルムービー：撮影時に人の顔を検出したときに同時に動画を保存したり、常に動画も保存するように設定します。

■ 撮った写真を見る

アルバムアプリを起動して、直前に撮影した静止画を確認できます。

- 撮影前の場合はアルバム一覧画面が表示されます。

❖ 静止画（写真）の自動撮影機能

次の機能は、設定なしに自動的に調整されて撮影できます。

オートフォーカス：被写体との距離が約10cm以上あれば、カメラを向けるだけでフォーカス枠を表示して自動的にピントを合わせます。

- 被写体に人物が入っている場合は、顔の検出枠が優先的に表示され、ピントを合わせます。ピントが合うと、検出枠の色が白から緑へ変わります。ピントが合っていないときは、検出枠は赤く表示されます。

タッチオートフォーカス：撮影画面の被写体にタッチして自動的にフォーカス枠を表示してピントを合わせます。ピントが合うと、フォーカス枠の色が白から緑に変わりお知らせ音が鳴ります。

ホワイトバランス：さまざまな光源（太陽光、曇り、電球や蛍光灯のような人工的な光など）の下で、より自然な色合いで撮影できるように自動的に調整します。

自動シーン認識：被写体や状況に合わせたシーンを自動的に認識して、最適なシーン種別へ切り替えて撮影できます。

- QRコードを撮影画面に表示した場合は、QRコードを自動的に読み取って結果を表示します。

自動露出調整：撮影時に、まわりの明るさに応じて露出を自動的に調整します。オートフォーカスの顔検出枠が表示された場合は、顔の明るさで固定されます。明るさを優先させたい被写体がある場合に画面の被写体にタッチして固定すると、顔検出されていても被写体の明るさを優先します。

ちらつき補正：蛍光灯などの照明下で、ちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えて撮影できます。

手ぶれ補正：撮影時の手ぶれは自動的に補正されるように設定されています。

◆パノラマ撮影

カメラの方向を左右または上下にゆっくりと動かすことで連続したパノラマ写真が撮影できます。

- 内側のカメラでのパノラマ撮影はできません。

1 ホーム画面で【カメラ・ビデオ】

静止画の撮影画面が表示されます。

- ホーム画面で ボタンを長く押しでも静止画の撮影画面を表示できます。
- 起動時に保存先を切り替える確認画面が表示された場合は、[切り替えなし] / [切り替える] をタッチします。

2 【メニュー】▶【便利機能】▶【パノラマ】

パノラマ撮影の画面が表示されます。

3 撮影画面に被写体を表示し、ピントが合ったら (シャッターボタン) をタッチまたは ボタンを押す

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 撮影時にカメラの方向をずらす速度が速すぎた場合は、「速すぎます」と表示されますので、表示されないようにカメラを動かします。

4 (シャッターボタン) をタッチまたは ボタンを押す

撮影停止音が鳴り、撮影が完了してパノラマ画像が保存されます。

- カメラを動かし続けてシャッターを押さずに撮影が完了した場合は、撮影停止音は鳴りません。

5 [戻る]

カメラを終了します。

◆拡大鏡

カメラのズーム機能を利用して細かい文字などを約2倍～12倍に拡大して画面に表示できます。拡大した画面はシャッターを押してそのまま撮影することもできます。

- 拡大鏡は外側のカメラを使って縦画面でのみのご利用になります。
- 撮影サイズは、縦1920×横1080のみとなります。

1 ホーム画面で【便利ツール】▶【拡大鏡】

画面に撮影モードの (拡大鏡) が表示されません。

- 起動時に保存先を切り替える確認画面が表示された場合は、[切り替えなし] / [切り替える] をタッチします。

2 対象にカメラを向ける

2倍に拡大された画面が表示されます。ズーム操作で表示の拡大率を調整できます。

撮影する : (シャッターボタン) をタッチまたは ボタンを押す

撮影の設定 : 拡大鏡の撮影画面で 【メニュー】

- [ライト] / [位置情報] / [保存先切替] のいずれかをタッチして設定します。

3 [戻る]

カメラを終了します。

✓お知らせ

- 拡大鏡は、ホーム画面で 【カメラ・ビデオ】 ▶ 【メニュー】 ▶ 【便利機能】 ▶ 【拡大鏡】 とタッチしても起動できます。

◆動画（ビデオ）撮影

1 ホーム画面で[カメラ・ビデオ]

静止画の撮影画面が表示されます。

- ホーム画面で[📷]ボタンを長く押ししても静止画の撮影画面を表示できません。
- 起動時に保存先を切り替える確認画面が表示された場合は、[切り替えなし] / [切り替える] をタッチします。

2 [メニュー] ▶ [動画]

動画の撮影画面が表示されます。

- 操作1で[🔍]をタッチしても動画の撮影画面に切り替えることができます。

3 撮影画面に被写体を表示して[📷]（シャッターボタン）をタッチまたは[📷]ボタンを押す

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 撮影が開始されると、撮影画面に録画経過時間が表示されます。

4 [📷]（シャッターボタン）をタッチまたは[📷]ボタンを押す

撮影停止音が鳴り、撮影が終了して保存されます。

- 撮影した動画を確認するには、撮影画面で[メニュー] ▶ [撮ったビデオを見る] とタッチします。

5 [戻る]

カメラを終了します。

✓お知らせ

- 撮影した動画は、MPEG-4（拡張子「.mp4」）のファイル形式で保存されます。
- microSDカードを使用して録画データを保存する場合は、SDスピードクラスがClass4以上のmicroSDカード（別売） / microSDHCカード（別売） / microSDXCカード（別売）をご利用になることをおすすめします。
- 動画撮影時のズームは、いずれの撮影サイズも最大約6.0倍（80段階）です。内側のカメラはズームに対応していません。

◆動画（ビデオ）の撮影設定

動画撮影画面で[メニュー]をタッチすると、次のメニューを操作することができます。

- 内側のカメラでは設定できない項目があります。

■残り録画可能時間表示

メニュー画面の左上に、設定している保存先の空き容量で保存できる残り録画可能時間の目安が表示されます。保存先の空き容量、撮影サイズにより残り録画可能時間は変化します。

■静止画

静止画の撮影画面に切り替わります。

■便利機能

[パノラマ] / [QRコード] / [拡大鏡] のいずれかをタッチして撮影モードを切り替えます。

■内／外カメラ切替

外側のカメラと内側のカメラを切り替えます。

■撮影サイズ

動画の大きさ、撮影サイズを設定します。

- 撮影サイズについて詳しくは、「主な仕様」をご覧ください。→p.127
- お買い上げ時は、[フルHD 16 : 9]（外側のカメラ）、[フルHD 16 : 9]（内側のカメラ）に設定されています。
- 1件のドコモメールで送受信できるファイルサイズは、本文や添付ファイルなどを含めて最大10MBまでです。そのため、より長時間の動画を添付したい場合は撮影サイズを「サイズ小 4 : 3」に設定することをおすすめします。

■ライト

暗いところで録画する際に、撮影ライトを点灯させるかどうかを設定します。

■保存先切替

録画データの保存先（SDカード / 本体）を選択します。

- 選択した保存先の空き容量が足りなくなったときは、その旨を表示して一時的に保存先を切り替えます。

■撮ったビデオを見る

アルバムアプリを起動して、撮影した動画を確認できます。

- 撮影前の場合はアルバム一覧画面が表示されます。

❖ 動画（ビデオ）の自動撮影機能

次の機能は、自動的に調整されます。

オートフォーカス：画面の中心の被写体にピントを合わせてから録画を開始します。

タッチオートフォーカス：録画前や録画中に、撮影画面の被写体にタッチすると、フォーカス枠を表示して自動的にピントを合わせます。ピントが合うと、フォーカス枠の色が白から緑に変わります。

ホワイトバランス：さまざまな光源（太陽光、曇り、電球や蛍光灯のような人工的な光など）の下で、より自然な色合いで撮影できるように自動的に調整します。

◆ QRコード読み取り

QRコードのデータを読み取り、利用できます。

- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。

■ QRコードとは

縦横方向の模様で英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、絵文字、メロディ、画像などのデータを表現している2次元コードです。

❖ QRコードの読み取り

- 被写体（QRコード）からカメラを約10cm以上離して読み取ってください。
- コードが読み取りにくい場合は、コードとカメラの距離、角度、方向などの調節により、読み取れることがあります。

1 ホーム画面で[便利ツール] ▶ [QRコード読み取り]

QRコード読み取り画面が表示されます。

2 読み取り画面にコードを表示

読み取りが完了すると、読み取り結果画面が表示されます。

ライトのON/OFF：[メニュー] ▶ [ライトON] / [ライトOFF]

読み取り履歴の表示：[メニュー] ▶ [履歴] ▶ 履歴を選択

静止画の撮影：[メニュー] ▶ [静止画撮影に切替]

動画の撮影：[メニュー] ▶ [動画撮影に切替]

3 読み取りデータを確認

読み取りデータの保存：[メニュー] ▶ [履歴を保存] ▶ 履歴保存欄を選択 ▶ [OK]

読み取り結果が保存されます。

- 履歴は5件まで保存できます。すでに5件保存されている場合は、既存の履歴保存欄をタッチすると、上書き保存できます。

✓お知らせ

- QRコードは、ホーム画面で [カメラ・ビデオ] ▶ [メニュー] ▶ [便利機能] ▶ [QRコード] とタッチしても起動できます。

❖ QRコードデータの主な利用

読み取り結果画面で、読み取ったQRコードデータを利用します。

- 操作できるメニューは、読み取ったデータによって異なります。

電話をかける：電話番号をタッチして電話をかける
電話帳に一括登録：[メニュー] ▶ [電話帳一括登録] ▶ [OK]

メールの作成：メールアドレスをタッチ ▶ メールアプリを選択してメールを作成

サイトまたはホームページに接続：URLをタッチ
読み取りデータのコピー：[メニュー] ▶ [コピー] ▶ [OK]

アルバム

カメラで撮影したりダウンロードしたりして保存した画像（静止画、動画）を表示／再生します。

- 次のファイル形式のデータを表示／再生できます。ファイルによっては再生できない場合があります。
静止画（写真など）：JPEG、BMP、GIF※、PNG、WEBP
動画（ビデオなど）：H.263、H.264、H.265、MPEG-2、MPEG-4、VP8、VP9
※ GIFアニメーションは再生できません。

◆ 画像の表示／再生

1 ホーム画面で[アルバム]

アルバムの一覧が表示されます。


2 アルバムを選択

画像（写真やビデオなど）の一覧が表示されます。

- ビデオ（動画）の画像は、アルバムや画像の一覧でアルバムや画像の両端にフィルム枠が表示されます。

3 画像を選択

画像（写真やビデオ）が表示されます。

- 前後の画像に切り替えるには、画像を左右にフリックします。
- ビデオを選択した場合、（動画再生ボタン）をタッチすると、ビデオが再生されます。
- 「使用するアプリを選択」画面が表示された場合は、アプリのアイコンをタッチし、「今回のみ」／「常時」をタッチしてください。

■ アルバム一覧での主な操作

アルバム別／日付別／お気に入り別に表示：[一覧] / [日付] / [★] をタッチ

アルバムの削除：[メニュー] ▶ [選択して削除する] ▶ アルバムを選択 ▶ [完了] ▶ [削除する] ▶ [OK]

アルバムの作成：[メニュー] ▶ [アルバムを作成] ▶ 作成先を選択 ▶ アルバム名を入力 ▶ [決定] ▶ [OK]

アルバム名の変更：[メニュー] ▶ [アルバム名を変更] ▶ アルバムを選択 ▶ アルバム名を入力 ▶ [決定] ▶ [OK]

写真の撮影：[メニュー] ▶ [写真を撮影する]

スマイルムービーの削除：[メニュー] ▶ [スマイルムービーを削除] ▶ ビデオを選択 ▶ [完了] ▶ [削除する] ▶ [OK]

■ 画像一覧での主な操作

メールで送信：[メニュー] ▶ [メールで送る] ▶ 画像を選択 ▶ [完了] ▶ [添付する] ▶ メールを作成して送信

めくってピクチャーに追加：[メニュー] ▶ [めくってピクチャーに追加] ▶ 画像を選択 ▶ [完了] ▶ [追加する] ▶ [設定する] ▶ [OK]

めくってピクチャーの解除：[メニュー] ▶ [めくってピクチャーを解除] ▶ 画像を選択 ▶ [完了] ▶ [解除する] ▶ [OK]

らくコミュ／ファミリーページに投稿：[メニュー] ▶ [らくコミュ／ファミリーページ投稿] ▶ 画像を選択 ▶ [投稿する]

画像の削除：[メニュー] ▶ [選択して削除する] ▶ 画像を選択 ▶ [完了] ▶ [削除する] ▶ [OK]

画像の移動：[メニュー] ▶ [選択して移動する] ▶ 画像を選択 ▶ [完了] ▶ 移動先のアルバムを選択 ▶ [移動する] ▶ [OK]

お気に入りの解除：[メニュー] ▶ [選択してお気に入り解除] ▶ 画像を選択 ▶ [完了] ▶ [解除する] ▶ [OK]

日付別で表示：[メニュー] ▶ [日付別表示に変更] ▶ スライドショーの起動：[メニュー] ▶ [スライドショーを起動]



アルバム名の表示：[メニュー] ▶ [アルバム名を表示] ▶ [OK]

選択して共有：[メニュー] ▶ [選択して共有する] ▶ 画像を選択 ▶ [完了] ▶ [共有する] ▶ 共有先のアプリを選択

✓お知らせ

- アルバムにより操作できるメニューは異なります。

■ 画像（写真／ビデオ）表示中の主な操作

前後の画像に切り替え：（前の画像） / （次の画像）をタッチ

メールで送信：[メールで送る] ▶ メールを作成して送信

お気に入りの登録／解除：[☆お気に入りに登録] / [★お気に入り解除]

✓お知らせ

- 画像（写真やビデオ）を表示中に [メニュー] をタッチすると、めくってピクチャー、らくコミュ／ファミリーページに投稿、削除、移動、トップ画面への貼り付けなどの操作ができます。ただし、画像の種類により、操作できるメニューは異なります。
- 画像（写真）を表示中に、同時に撮影されたスマイルムービーがある場合には、（動画を再生） / （動画を削除）が表示されます。
- トップ画面に設定した写真を移動／削除すると、トップ画面に表示されなくなります。

地図／GPS機能

本端末のGPS機能と対応するアプリを使用して、現在地の確認や目的地までの経路検索などを行うことができます。

- 本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。GPS機能を利用する際にパケット通信料が発生する場合があります。

◆GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国防務省により運営されており、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、本体左上部分にGPSアンテナが内蔵されていますので、その付近を手で覆わないようにしてお使いください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内

- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

◆位置情報サービスの設定

◇GPS機能

GPSを使用して現在地の特定をアプリに許可するかどうかを設定します。

- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [位置情報アクセス]

2 [GPS機能]を[オン]

3 [同意する]

✓お知らせ

- 精度の高い位置情報を測位するには、天空が見える場所で使用してください。
- 本機能を使用すると電池の消費が多くなりますのでご注意ください。

◆地図アプリを使う


現在地の表示や別の場所の検索、経路検索などを行います。

- 地図アプリを利用するには、LTE／3Gネットワークでの接続またはWi-Fi接続が必要です。
- 地図アプリは海外ではご利用になれません。
- 地図アプリの一部機能は、ドコモ地図ナビのお申し込みが必要な有料サービスです。
- 現在地を表示するには、あらかじめ [GPS機能] を [オン] にしてください。
- 初回起動時は「ご利用にあたって」に同意いただく必要があります。

◇現在地を表示

1 ホーム画面で[地図] ▶ [現在地]

- 地図表示中は次の操作ができます。
スクロール：地図をスクロールします。
ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。

：縮小／拡大します。

◇場所の検索

お店や施設を検索します。

1 地図表示中に[検索] ▶ 検索ボックスにキーワードを入力 ▶ [検索]

2 表示されたリストから目的の場所をタッチ
目的の場所の詳細情報が表示されます。

- 詳細情報の画面で次のオプションを利用することができます。
 - 地図**：検索した目的の場所を地図で表示します。
 - ナビ**：検索した目的の場所まで道案内（ナビ）します。
 - 登録**：検索した目的の場所を登録します。
 - メール**：検索した目的の場所をメールで送信します。
- 場所によって利用できるオプションは異なります。

◆さまざまな機能の利用

地図を表示中に便利な機能を利用します。

1 地図を表示中に[メニュー]

2 各メニューをタッチして操作

■地図検索

キーワードの入力や、住所一覧／地下街・駅構内・屋内から選択して地図を表示します。

■お店・施設

ジャンルを選択して、検索ボックスにキーワードを入力／カテゴリから選択してお店・施設を検索します。

- お店・施設の詳細情報で、クーポンや営業時間を確認したり、地図やナビなどのオプションを利用したりできます。

■ナビ

車、徒歩＋電車、自転車の経路検索やナビゲーションができます。

■乗換案内

公共交通機関を利用した経路の検索ができます。→ p.86

■自宅へ帰る

自宅へのナビゲーションができます。

■時刻表

電車やバスの時刻表を検索します。

■連携アプリ

地図アプリと連携した「ご当地ガイド」、「3D地図」、「災害地図」、「訪れた街」を利用できます。

■渋滞情報

渋滞情報を検索します。

■マイデータ

登録地点や履歴地点の確認、自宅や自宅最寄駅の設定ができます。

■設定／ヘルプ

アプリの各種設定や初期化、ヘルプやアプリ情報の確認ができます。

上記の機能を利用中に地図アプリを終了：[メニュー] ▶ [アプリ終了] ▶ [アプリ終了]

✓お知らせ

- 一部の機能を利用するには、別途ドコモ地図ナビへのお申し込み（有料）が必要です。

◆地図上で場所の情報確認

1 地図上でロングタッチ

📍(ピン) が表示されます。

2 📍(ピン)をタッチ

詳細情報が表示されます。

- 詳細情報でオプションを利用することができます。→p.85

◆乗換案内を使う

公共交通機関を利用した経路を検索します。出発駅と到着駅を入力して、経路や運賃・所要時間を調べることができます。

1 ホーム画面で[乗換案内]

- 地図を表示中に [メニュー] ▶ [乗換案内] をタッチしても操作できます。

2 出発駅と到着駅を入力して[経路検索]

- [出発駅] / [到着駅] / [経由駅を追加] のいずれかをタッチすると、[自宅最寄駅・駅履歴] や [現在地付近で探す] から指定することもできます。

◆Googleマップ

Google マップ™で現在地の測位や場所の検索、経路の検索などを行います。

- Google マップを利用するには、LTE／3G／GPRSネットワークでの接続またはWi-Fi接続が必要です。
- 現在地を測位するには、あらかじめ位置情報サービスを有効にしてください。→p.85
- Google マップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

1 ホーム画面で[Google] ▶ [マップ]

- Google マップの操作については、画面の三をタッチして、ヘルプや便利な使い方などをご覧ください。
- 現在地の測位で位置情報の設定や精度を変更する旨の確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

◆メモの作成／編集

- 1 ホーム画面で[便利ツール] ▶ [メモ]
- 2 [メモの新規登録]
メモの編集：メモを選択 ▶ [メニュー] ▶ [編集する]
- 3 メモの件名と詳細を入力
画像の添付：[追加] ▶ [今から撮影する] / [アルバムから選ぶ]
・添付した画像を変更する場合は、[変更] ▶ [今から撮影する] / [アルバムから選ぶ] / [添付画像を解除] をタッチします。
- 4 [登録する] ▶ [OK]

◆メモの表示

- 1 ホーム画面で[便利ツール] ▶ [メモ]
メモの一覧画面が表示されます。
- 2 メモをタッチ
メモの内容画面が表示されます。

■メモの一覧画面での主な操作

- メモの並び替え：[メニュー] ▶ [一覧の並び替えを行う] ▶ 並び順を選択
- メモの表示方法変更：[メニュー] ▶ [一覧の表示方法を変更] ▶ 表示方法を選択
- クラウドのデータと同期^{※1}※2：[メニュー] ▶ [クラウドと同期] ▶ 画面の指示に従って操作
- ドコモクラウドの利用^{※2}：[メニュー] ▶ [クラウド設定] ▶ 画面の指示に従って操作
- メモの削除：[メニュー] ▶ [全件削除] ▶ [削除する] ▶ [OK]
- i コンシェル利用：[メニュー] ▶ [i コンシェルへ]
- アプリケーションの情報：[メニュー] ▶ [アプリケーション情報]

※1 [クラウドと同期] の操作にはパケット通信料がかかります。

※2 ドコモクラウドを初めて利用する場合は、ホーム画面で [本体設定] ▶ [ドコモのサービス／クラウド] ▶ [ドコモクラウド] をタッチして設定を行います。

ドコモクラウドを設定すると、データをサーバーに保管したり、パソコンでデータを編集したりできます。

[クラウド設定] の操作にはパケット通信料がかかります。

■メモの内容画面での主な操作

- メモの編集：[メニュー] ▶ [編集する] ▶ メモの件名と詳細と添付を編集 ▶ [編集を完了] ▶ [OK]
- メモの削除：[メニュー] ▶ [削除する] ▶ [削除する] ▶ [OK]
- メモの画像を保存：[メニュー] ▶ [画像保存] ▶ [本体へ保存] / [SDへ保存] ▶ [OK]
- メモの共有：[メニュー] ▶ [共有する] ▶ 共有するアプリを選択

スケジュール

予定を管理できます。

- 1 ホーム画面で[便利ツール] ▶ [スケジュール]
カレンダー画面が表示されます。

■ カレンダー画面での主な操作

先月／翌月の切り替え：◀(先月) / ▶(翌月) をタッチ

- 予定を登録：[メニュー] ▶ [予定の登録]
- 予定一覧の表示：[メニュー] ▶ [予定の一覧]
- 今月に切り替え：[メニュー] ▶ [当月に移動]
- クラウドのデータと同期^{*1}：[メニュー] ▶ [クラウドと同期] ▶ 画面の指示に従って操作
- 今日の予定をお知らせ：[メニュー] ▶ [設定] ▶ [今日の予定お知らせ設定]

通知のオン／オフ設定：[メニュー] ▶ [設定] ▶ [通知の設定] を[オン]／[オフ]

予定通知時の振動の動作を設定：[メニュー] ▶ [設定] ▶ [振動の設定] ▶ 動作を選択 ▶ [OK]

ドコモクラウドの利用^{*2}：[メニュー] ▶ [設定] ▶ [クラウド設定] ▶ 画面の指示に従って操作

スケジュールの削除：[メニュー] ▶ [全件削除] ▶ [削除する] ▶ [OK]

i スケジュールの一覧表示：[メニュー] ▶ [i スケジュール一覧へ] ▶ 画面の指示に従って操作

i コンシェル利用：[メニュー] ▶ [i コンシェルへ] ▶ アプリケーションの情報：[メニュー] ▶ [アプリケーション情報]

※1 [クラウドと同期] の操作にはパケット通信料がかかります。

※2 ドコモクラウドを初めて利用する場合は、ホーム画面で [本体設定] ▶ [ドコモのサービス/クラウド] ▶ [ドコモクラウド] をタッチして設定を行います。
ドコモクラウドを設定すると、データをサーバーに保管したり、パソコンでデータを編集したりできます。
[クラウド設定] の操作にはパケット通信料がかかります。

◆ 予定の登録

- 1 カレンダー画面で[メニュー] ▶ [予定の登録]
- 2 各項目を設定
- 3 [登録する] ▶ [OK]

◇ 通知の時刻になると

設定に従って通知が行われます。次の操作で予定の表示や通知の停止ができます。

- 1 通知画面で目的的操作を行う
 - 予定の表示：[予定を表示する]
詳細画面が表示されます。[メニュー] をタッチすると、予定の修正や削除ができます。
 - 通知の停止：[閉じる]

◆ 予定の表示

スケジュールに登録した予定の詳細を表示します。

- 1 カレンダー画面で日付をタッチ
 - 選択した日付の予定一覧で [メニュー] をタッチすると、[当日に戻る] / [予定を登録する] / [削除する] のいずれかの操作ができます。
- 2 予定をタッチ

■ 予定の詳細画面での主な操作

- 予定の編集：[メニュー] ▶ [編集する] ▶ 修正する項目をタッチして修正 ▶ [編集を完了] ▶ [OK]
- 予定の削除：[メニュー] ▶ [削除する] ▶ [削除する] ▶ [OK]
- 予定の画像を保存：[メニュー] ▶ [画像保存] ▶ [本体へ保存] / [SDへ保存] ▶ [OK]
- 予定の共有：[メニュー] ▶ [共有する] ▶ 共有するアプリを選択

目覚まし

設定した時刻に目覚ましを鳴らすことができます。

◆目覚ましの登録／編集

1 ホーム画面で[目覚まし]

- 目覚まし一覧で [メニュー] をタッチすると、目覚ましの全件削除ができます。

2 [目覚ましの登録]

登録した目覚ましの編集：目覚ましを選択

- 目覚ましの左端にある目覚ましアイコンをタッチして、[目覚まし動作] を設定することもできます。

登録した目覚ましの削除：目覚ましを選択▶

- [削除] ▶ [削除する] ▶ [OK]
- 操作3以降は必要ありません。

3 各項目を設定

目覚まし動作：目覚まし方法を設定したり、目覚ましの設定を停止したりします。

時刻：目覚ましの時刻を設定します。

繰り返し：目覚ましの繰り返しを設定します。

メモ：メモを設定します。

音：目覚まし音を設定します。

音量：目覚まし音の音量を設定します。

バイブレータ：目覚まし時刻に振動するかを設定します。

4 [完了]▶[OK]

◆目覚ましの時刻になると

設定に従って通知が行われます。次の操作で停止します。

1 通知画面で[停止]または[]ボタンを押す

- [OK] ▶ [OK] をタッチすると、5分後に再通知されます。

お知らせタイマー

タイマーを設定します。

1 ホーム画面で[便利ツール]▶[お知らせタイマー]

2 時間を指定▶[開始]

カウントダウンが始まります。

- カウントダウン中に [中断] をタッチすると、[中断して終了] / [タイマーに戻る] / [設定をやり直す] のいずれかの操作ができます。

◆指定した時間が経過すると

通知画面の表示、通知音、振動でお知らせします。次の操作で停止します。

1 通知画面で[停止]▶[OK]

- [] ボタンを押しても停止できます。

電卓

1 ホーム画面で[便利ツール]▶[電卓]

2 計算する

すべて消去：[AC]

入力した字を1文字削除：[1字削除]

電卓の終了：[戻る]

✓お知らせ-----

- 計算結果が表示されている場合は、結果を使って続けて数式を入力できます。

検索

「Google」アプリまたは「音声検索」アプリを利用して検索します。

- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

◆ Google検索

- 1 ホーム画面で [Google] ▶ [Google]
 - 初回起動時は確認画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- 2 キーワードを入力
文字の入力に従って検索候補が表示されます。
 - 文字を入力して [検索] をタッチすると、Webサイトの検索候補が表示されます。
- 3 検索候補から選択

◆ 音声検索

音声でキーワードを入力してWebサイトを検索できます。

- 1 ホーム画面で [Google] ▶ [音声検索] ▶ 送話口/マイクに向かってキーワードを発声
- 2 Webサイトの検索候補から選択

✓お知らせ

- Google検索とGoogle Now™の詳細については、Google検索画面の ☰ をタッチ ▶ [ヘルプ] をタッチしてヘルプをご確認ください。

ドコモデータコピー

「ドコモデータコピー」は、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーしたり、バックアップ/復元をしたりするためのアプリです。

機種変更時のデータ移行や、大切なデータの定期的なバックアップにご利用ください。

- 初回起動時は、アプリケーション・プライバシーポリシーとドコモデータコピーアプリ利用規約に同意いただく必要があります。

◆ データ移行

インターネットを使用しない1対1のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。コピー元端末とコピー先端末の両方で「データコピー」を起動し、2台並べた状態で利用してください。

- 1 ホーム画面で [あんしんツール] ▶ [データコピー] ▶ [データ移行]
 - 画面の指示に従って操作してください。
 - コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要です。インストールされていない場合、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
 - ご利用の機種やOSにより、通信方法は異なります。
 - 対応機種や詳しい使い方は、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ microSDカードへ保存・復元

microSDカードを利用して、電話帳、画像などのデータの移行やバックアップができます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- バックアップ対象の電話帳は、docomoのアカウントの電話帳に登録されている電話帳です。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。

- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 本端末のメモリ構成上、microSDカードを取り付けていない場合、静止画・動画などのデータは本端末に保存されます。本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

❖バックアップ

電話帳、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

- 1 ホーム画面で[あんしんツール] ▶ [データコピー] ▶ [バックアップ&復元]
- 2 [バックアップ] ▶ バックアップするデータにチェックを付ける ▶ [バックアップ開始] ▶ [開始する]
 - 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。
- 3 [トップに戻る]

❖復元

microSDカードにバックアップした電話帳、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

- 1 ホーム画面で[あんしんツール] ▶ [データコピー] ▶ [バックアップ&復元]
- 2 [復元] ▶ 復元するデータ種別を[選択] ▶ 復元するデータにチェックを付ける ▶ [選択]
- 3 復元方法を選択 ▶ [復元開始] ▶ [開始する]
 - データ種別によっては、復元方法の選択は不要です。
 - 選択したデータが本端末に復元されます。
- 4 [トップに戻る]

❖電話帳をドコモのアカウントにコピー

Googleアカウントの電話帳をdocomoのアカウントにコピーします。

- 1 ホーム画面で[あんしんツール] ▶ [データコピー] ▶ [バックアップ&復元]
- 2 [電話帳アカウントコピー] ▶ コピーする電話帳の[選択] ▶ [上書き] / [追加]
 - コピーしたアカウントがdocomoのアカウントに保存されます。
- 3 [OK]

◆データ保管BOXへ保存・復元

通話履歴・音楽のデータをデータ保管BOXを利用してバックアップ・復元します。

- 1 ホーム画面で[あんしんツール] ▶ [データコピー] ▶ [データ保管BOXへバックアップ・復元]
- 2 目的的操作を行う
 - 画面の指示に従って操作してください。
 - ドコモクラウドへログインしていない場合、確認画面が表示されます。

✓お知らせ

- データ保管BOXでの定期バックアップ設定をご利用になる際、パケット通信料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。

歩数計

本端末内蔵の各種センサーなどにより毎日の活動量や生活習慣を数値化して、健康管理をサポートする各種アプリを利用できます。

- [自分から設定] で身長と体重を設定すると、より正確な歩数情報が取得できます。→p.109

1 ホーム画面で[健康・ショッピング] ▶ [歩数計]

- 初回起動時は、プロフィール設定画面が表示されます。画面の案内に従って操作してください。

2 各機能・アプリを操作

■歩行

歩いた歩数、距離、消費カロリーや脂肪燃焼量、活動量を表示することができる機能です。

■仮想コース

歩いた歩数を距離に換算し、日本各地をめぐる仮想の旅が楽しめる機能です。

■睡眠

睡眠状態のグラフを表示します。

合計睡眠時間や目標睡眠時間、達成度、深い眠り時間、浅い眠り時間などの情報が表示されます。

■睡眠計測

睡眠中の状態を記録し、いびきや寝返りなどを計測して睡眠記録を表示します。

- 睡眠計測を行うには電池の最適化を無効にする必要があります。初回起動時に確認画面が表示されたら、[設定を表示] ▶ [▼] ▶ [すべてのアプリ] ▶ [My Tracker] ▶ [最適化しない] ▶ [完了] をタッチしてください。

✓お知らせ

- 歩数計、活動量をトップ画面に表示するには、ホーム画面で [本体設定] ▶ [画面・ランプの設定] ▶ [トップ画面の設定] ▶ [トップ画像の設定] で [アナログ時計] を設定します。
- トップ画面に表示される歩数計は1日の歩数、活動量は1週間の活動量を表示します。

本体設定

設定メニュー

ホーム画面で [本体設定] をタッチして表示される設定メニューから、各種設定を行います。

メニュー		参照ページ	
自分の電話番号		51 94	
簡単モード切替	マナーモード	94	
	運転中モード	94	
	機内モード	95	
	Wi-Fi	99	
	Bluetooth	68	
	GPS機能	85	
電話の設定	ネットワークサービス	47	
	海外設定	118	
	伝言メモ	46	
	迷惑電話対策	46	
	着信拒否設定	47	
	サブアドレス設定	47	
	通話メモ	46	
	あわせるボイス	45	
	電源ボタンで通話を終了	44	
	スグ電設定	47	
	ドコモへのお問合せ	47	
	オープンソースライセンス	47	
	画面・ランプの設定	トップ画面の設定	95
		ホーム画面の設定	95
配色テーマの設定		96	
画面の明るさ		96	
消灯までの時間		96	
画面の自動回転		96	
いつでもズーム		96	
フォント設定		96	
光を点滅させて通知		96	
詳細設定		97	

メニュー		参照ページ
音・振動・タッチの設定	電話・メール着信時の設定	97
	メディア音量	98
	アラーム音量	98
	通知音	98
	ダイヤルパッド操作音	98
	タッチ時の振動	98
	タッチ操作	98
	詳細設定	99
通信の設定	Wi-Fi	99
	Wi-Fi設定	
	Bluetooth	68
	Bluetooth設定	
	BluetoothLE設定	69
	テザリング	102 102
	データ使用	101
	モバイルネットワーク	101 101 116 116
	VPN設定	103
	位置情報アクセス	85
セキュリティの設定	解除方法変更	104
	SIMカードロック*	105
	パスワード表示	105
	提供元不明のアプリ	106
	信頼できる認証情報	106
	証明書のインストール	106
	認証情報の消去	106
	通知の表示方法を設定	106
	スマートフォンの暗号化	106
	ドコモのサービス／クラウド	dアカウント設定
ドコモクラウド		
ドコモアプリ管理		
おすすめ使い方ヒント		
オートGPS		
ドコモ位置情報		
端末エラー情報送信		
プロフィール設定		
ドコモサービス初期設定		
USBデバッグ切替		
オープンソースライセンス		

メニュー		参照ページ
エコモードの設定	エコモード	107
	自動エコモード起動	
	電池残量設定	
Google		108
アプリケーションの削除		108
その他	アカウントと同期	108
	キーボードと入力	39 39
	保存領域	109
	文字入力設定	39
	自分から設定	109
	バックアップ・リセット	110
	日付と時刻	110
	カメラキー長押し動作の切替	110
	印刷	111
	端末情報	111
	高度な設定	112

※ ドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合は表示されません。

自分の電話番号

ご利用の電話番号を確認できます。また、ご自身の情報を入力、編集したりできます。

ホーム画面からの確認→p.51

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [自分の電話番号]


- ご自身の情報を入力、編集する際は、[修正する] をタッチして行います。

簡単モード切替

- Wi-Fi機能については、「Wi-Fi機能を有効にしてネットワークに接続」をご覧ください。→p.99
- Bluetooth機能については、「Bluetooth機能オン/オフ」をご覧ください。→p.68
- GPS機能については、「GPS機能」をご覧ください。→p.85

◆ マナーモードの設定


着信音などをスピーカーから鳴らさずに振動でお知らせするかどうかを設定します。

- マナーモードを設定すると、ステータスバーに  (マナーモードのステータスアイコン) が表示されます。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [簡単モード切替]


2 [マナーモード]を[オン]/[オフ]

✓お知らせ

- 次の方法でもマナーモードを設定/解除できます。
 - [] ボタンを押す (1秒以上) ▶ [OK]
 - 携帯電話オプションメニューが表示されるまで  ボタンを押し続ける ▶ [マナーモード] ▶ [OK]
- 本端末では、マナーモードの設定に関わらず、カメラ起動中のスクリーンショット音、シャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、BluetoothLE設定のFind Me通知音、エリアメールの着信音は鳴ります。

◆ 運転中モードの設定


電話に出られない旨を発信者にガイダンスでお知らせします。

- 運転中モードを設定すると、ステータスバーに  が表示されます。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [簡単モード切替]


2 [運転中モード]を[オン]/[オフ]

✓お知らせ

-  ボタンを押し続けて表示される携帯電話オプションメニューからも設定/解除できます。

◆機内モードの設定


機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能（電話、パケット通信、Wi-Fi機能、テザリング、Bluetooth機能）が無効になります。ただし、Wi-Fi機能およびBluetooth機能は機内モード中に手動で機能を有効にすることができます。

- 機内モードを設定すると、ステータスバーに（機内モードのステータスアイコン）が表示されます。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [簡単モード切替]

2 [機内モード]を[オン]／[オフ]

✓お知らせ

-  ボタンを押し続けて表示される携帯電話オプションメニューからも設定／解除できます。

画面・ランプの設定

◆トップ画面の設定

トップ画面（誤操作防止用に表示される画面）に関するさまざまな設定を行います。

- トップ画面について→p.25

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [画面・ランプの設定] ▶ [トップ画面の設定]

2 各項目を設定

トップ画像の設定：トップ画面に表示する画像や情報を選択します。

- [めくってピクチャー（複数画像）] ／ [ファミリーページ] ／ [アナログ時計] ／ [1枚画像] ／ [当月のカレンダー] のいずれかから選択できます。画面の案内に従って操作してください。

充電中の画面表示：充電中にトップ画面が表示されている場合は、画面を消灯しないようにするか、消灯時間の設定に従うかを設定します。

写真の切替時間設定：[トップ画像の設定] に [めくってピクチャー（複数画像）] ／ [ファミリーページ] を設定している場合は、次の画像に自動で切り替わるまでの時間を設定します。

✓お知らせ

- らくらくコミュニティとファミリーページの詳細については、「らくらくコミュニティ」（→p.66）と「ファミリーページ」（→p.67）をご覧ください。

◆ホーム画面の設定

ホーム画面（→p.29）に関するさまざまな設定を行います。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [画面・ランプの設定] ▶ [ホーム画面の設定]

2 各項目を設定

アイコンの並び替え：カテゴリ別アプリや、基本アプリ（電話／電話帳・メール・インターネット・ワンタッチダイヤル以外のアプリ）を移動します。基本アプリをカテゴリ別アプリエリアに移動することはできません。

- [初期状態に戻す] をタッチすると、アプリの並び順をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

カテゴリの並び順変更：カテゴリの並び順を変更します。

ブックマークの貼付け解除：ホーム画面に貼り付けられているブックマークの貼り付けを解除します。

- ブックマークをホーム画面に貼り付けている場合に設定できます。→p.64

i チャンネル：i チャンネルの表示を契約に応じて切り替えるか、常に表示しないようにするかを設定します。

ワンタッチダイヤル：ワンタッチダイヤルを表示するかどうかを設定します。

Google検索の表示：ホーム画面から直接Google検索が行えるウィジェットを表示します。

ホーム画面切替：「標準メニュー」のホーム画面の表示を切り替えます。Playストアなどからアプリをダウンロードする場合は、「アプリ追加用ホーム」をご利用ください。

ウィジェット：ホーム画面に表示するウィジェットの設定を行います。→p.35

◆配色テーマの設定

トップ画面とホーム画面の配色を設定します。

- お買い上げ時の設定は、端末の色によって異なります。

1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[画面・ランプの設定]** ▶ **[配色テーマの設定]**

2 項目を選択 ▶ **[OK]**

◆画面の明るさの設定

画面の明るさを設定します。

1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[画面・ランプの設定]** ▶ **[画面の明るさ]**

2 各項目を設定

自動調整：周囲の明るさに応じて画面の明るさを自動で調整するかどうかを設定します。

明るさ調整：画面の明るさの調整範囲を設定します。

◆消灯までの時間設定（スリープモード）

画面が消灯するまでの時間を設定します。

1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[画面・ランプの設定]** ▶ **[消灯までの時間]**

2 時間を選択 ▶ **[OK]**

◆画面の自動回転の設定

本端末の向きに合わせて画面を回転させるかどうかを設定します。


1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[画面・ランプの設定]**

2 **[画面の自動回転]**を**[オン]**／**[オフ]**

✓お知らせ

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。


◆いつでもズームの設定

 ボタンを押し続けている間、画面を拡大するかどうかを設定します。

1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[画面・ランプの設定]**

2 **[いつでもズーム]**を**[オン]**／**[オフ]**

✓お知らせ

- 次の場合は、本設定を有効にしても動作しません。
 - ホーム画面表示中
 - カメラ起動中
 -  ボタンを利用しているアプリを起動しているとき
 - 文字入力中

◆フォント設定

文書の書体を選択します。

1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[画面・ランプの設定]** ▶ **[フォント設定]**

2 フォントを選択

3 **[完了]**

✓お知らせ

- 画面によっては、電源を入れ直すとフォントの設定が反映されません。
- アプリやWebサイトによっては、フォントの設定が反映されない場合やフォントが正しく表示されない場合があります。

◆ランプの設定

不在着信など、本端末の状態をお知らせランプの点滅で通知するか設定します。

1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[画面・ランプの設定]**

2 **[光を点滅させて通知]**を**[オン]**／**[オフ]**

◆ 画面・ランプの詳細設定

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [画面・ランプの設定] ▶ [詳細設定]

2 各項目を設定

持ってる間ON：本端末を手に持って動きのある間は、画面を消灯しないようにするかどうかを設定します。

動画補正：テレビやアルバムなどのアプリで表示される動画の画質補正をするかどうかを設定します。

- カメラで録画した動画や、ダウンロードなどでmicroSDカード内に保存した動画も、1080p以下のサイズであれば再生時に画質補正されます。

静止画補正：アルバムなどのアプリで表示される静止画の画質補正をするかどうかを設定します。

スクリーンセーバー：充電中、スリープモードになったときに表示する画像を設定します。スクリーンセーバー起動後は、画面をタッチするとスクリーンセーバーを終了することができます。

音・振動・タッチの設定

◆ 電話・メール着信時の設定

電話着信時の着信音、音量、振動（メール受信時を含む）を設定します。

❖ 電話着信時の着信音設定

電話がかかってきたときに鳴る音を変更します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [電話・メール着信時の設定]

2 [着信音]

3 [鳴らさない] / [内蔵メロディ] / [ダウンロード]のいずれかをタッチ

- ・ [鳴らさない] をタッチした場合は、操作5に進みます。

4 着信音を選択 ▶ [このメロディを選択]

5 [OK]

✓お知らせ

- ・ 電話帳に着信音を設定している場合は、電話帳の着信音が優先されます。

❖ 電話着信時の音量設定

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [電話・メール着信時の設定] ▶ [着信音量]

2 スライダーをスライドして音量を調節 ▶ [完了] ▶ [OK]

✓お知らせ

- ・ 本設定は、通知時の音量設定（→p.98）と連動しています。
- ・ 操作2で \square ボタンを押しても音量を調節できます。

❖ 電話・メール着信時の振動設定

電話着信時とメール受信時に振動でお知らせするかどうかを設定します。

- ・ マナーモード中は設定できません。

- ・ [振動] を [オフ] に設定した場合でも、着信音量設定で消音に設定された場合は振動します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [電話・メール着信時の設定]

2 [振動] を [オン] / [オフ]

◆メディア音量の設定

テレビ、ネットラジオ、radiko.jp（ラジオ）、ボイスレコーダー、インターネット（動画再生）、ゲームなどの再生音の音量を調節します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [メディア音量]

2 スライダーをスライドして音量を調節 ▶ [完了] ▶ [OK]

✓お知らせ

• 操作2で \square ボタンを押しても音量を調節できます。

◆アラーム音量の設定

お知らせタイマーやスケジュールなどの通知音の音量を調節します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [アラーム音量]

2 スライダーをスライドして音量を調節 ▶ [完了] ▶ [OK]

✓お知らせ

• 操作2で \square ボタンを押しても音量を調節できます。

◆通知音の設定

SMS、メール、パソコンメール受信時などの通知音と音量を設定します。

※通知時の音設定

SMS、メール、パソコンメールを受信したときなどに鳴る音を変更します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [通知音]

2 [通知音]

3 [鳴らさない] / [内蔵メロディ] / [ダウンロード]のいずれかをタッチ

• [鳴らさない] をタッチした場合は、操作5に進みます。

4 通知音を選択 ▶ [このメロディを選択]

5 [OK]

※通知時の音量設定

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [通知音] ▶ [音量]

2 スライダーをスライドして音量を調節 ▶ [完了] ▶ [OK]

✓お知らせ

• 操作2で \square ボタンを押しても音量を調節できます。
• 本設定は、電話着信時の音量設定（→p.97）と連動しています。

◆ダイヤルパッド操作音の設定

ダイヤルパッドを操作したときに音を鳴らすかどうかを設定します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定]

2 [ダイヤルパッド操作音]を[オン] / [オフ]

◆タッチ時の振動設定

タッチしたときの振動の強さを設定します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [タッチ時の振動]

2 項目を選択 ▶ [OK]

◆タッチ操作の設定

※操作音の設定

画面を操作したときに音を鳴らすかどうかを設定します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [タッチ操作]

2 [操作音]を[オン] / [オフ]

• [操作音] を [オン] にする場合は、[オフ] をタッチした後、しばらくすると設定されます。

※うっかりタッチサポートの設定

端末を手に持ったとき、画面の端に触れていてもタッチ操作を行うかどうかを設定します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [タッチ操作]

2 [うっかりタッチサポート]を[オン] / [オフ]

◆音・振動・タッチの詳細設定

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [詳細設定]

2 各項目を設定

画面ロック音：トップ画面を解除またはトップ画面以外で画面を消灯させたときに音でお知らせするかどうかを設定します。

ロック解除時の振動：トップ画面を解除したときに振動でお知らせするかどうかを設定します。

充電時の振動：充電開始時および完了時に振動でお知らせするかどうかを設定します。

充電通知音：充電開始時および完了時に音でお知らせするかどうかを設定します。

電池残量警告音：電池残量が少なくなったときに音でお知らせするかどうかを設定します。

通信の設定

- Bluetooth機能については「Bluetooth®通信」をご覧ください。→p.68

◆Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。


■Bluetooth機能との電波干渉について

無線LAN (IEEE 802.11b/g/n) とBluetooth機能は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用しています。そのため、本端末の無線LAN機能とBluetooth機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。

また、本端末の無線LAN機能のみ使用している場合でも、Bluetooth機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

- 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

◆Wi-Fi機能を有効にしてネットワークに接続

- Wi-Fiに接続すると、ステータスバーに (Wi-Fi接続中のステータスアイコン) が表示されます。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [Wi-Fi]を[オン]にする

2 [Wi-Fi設定] ▶ [ネットワークの選択] ▶ Wi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード (セキュリティキー) を入力し、[登録] ▶ [閉じる] をタッチします。

✓お知らせ

- Wi-Fi機能が有効のときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE/3G/GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。

- アクセスポイントを選択して接続する際に誤ったパスワード（セキュリティキー）を入力すると「パスワードが正しくない可能性があります。」と表示されます。パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても同様のメッセージが表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合は「dアカウント」の設定が必要です。次の方法で設定してください。

- ホーム画面で [本体設定] ▶ [ドコモのサービス/クラウド] ▶ [dアカウント設定]

- 複数のWi-Fiネットワークを保存している場合、接続先を切り替えるには切り替え先のWi-Fiネットワークを選択し、[ネットワークへ接続] をタッチしてください。現在接続中のWi-Fiネットワークが切断され、選択したWi-Fiネットワークに自動的に切り替わります。
※ 切断したネットワークの情報は削除されません。接続操作を行うと再接続できます。

❖ Wi-Fiネットワークの追加

ネットワークSSIDやセキュリティを入力して、手動でWi-Fiネットワークを追加します。

- あらかじめWi-Fi機能を有効にしてください。

- 1 ホーム画面で [本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [Wi-Fi設定] ▶ [ネットワークの選択]
- 2 [メニュー] ▶ [ネットワークを追加]
- 3 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力
- 4 [セキュリティ]の[編集] ▶ セキュリティを選択
 - セキュリティは [なし] / [WEP] / [WPA/WPA2 PSK] / [802.1x EAP] のいずれかを設定できます。
- 5 必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力 ▶ [登録] ▶ [閉じる]

❖ Wi-Fiネットワークの切断

- 1 ホーム画面で [本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [Wi-Fi設定] ▶ [ネットワークの選択]
- 2 接続しているWi-Fiネットワークを選択 ▶ [ネットワークから切断] ▶ [削除する] ▶ [閉じる]

❖ Wi-Fiの詳細設定

- 1 ホーム画面で [本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [Wi-Fi設定] ▶ [詳細設定]
- 2 各項目を設定
 - ネットワークの通知：Wi-Fiのオープンネットワークが利用可能なときに通知するかどうかを設定します。
 - Wi-Fi機能が無効の場合は設定できません。
 - 画面消灯時のWi-Fi設定：本端末の画面が消灯したときや充電しているときにWi-Fi機能を使用するかどうかを設定します。
 - Wi-Fi最適化：Wi-Fi機能が有効のとき、消費電力を抑えるようにするかどうかを設定します。
 - 簡単登録の接続：Wi-Fi簡単登録の接続方式（AOSS™方式、WPS方式）を設定します。
 - 証明書のインストール：新規にCA証明書を表示します。
 - MACアドレス：MACアドレスが表示されます。
 - IPアドレス：IPアドレスが表示されます。

❖ Wi-Fiネットワークの簡単登録

WPSのプッシュボタン方式に対応した無線LANアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。

- あらかじめWi-Fi機能を有効にしてください。

- 1 ホーム画面で [本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [Wi-Fi設定] ▶ [Wi-Fi簡単登録]
- 2 [開始する] ▶ 画面の案内に従って操作

✓お知らせ

- 無線LANアクセスポイントによっては接続できない場合があります。接続できない場合は手動で接続してください。
- 無線LANアクセスポイント側のセキュリティによっては、接続できない場合があります。
- AOSS™方式で接続したい場合、AOSS™方式に設定を変更後、[Wi-Fi簡単登録] を選択してください。設定の変更については、「Wi-Fiの詳細設定」の「簡単登録の接続」の操作をご覧ください。→p.100

◆データ使用の設定

モバイルデータ通信の有効/無効を切り替えることができます。また、設定した期間内に通信したデータ使用量に応じて、モバイルデータ利用の警告を表示することができます。


1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [データ使用]

2 [モバイルデータ]をONにする

データ使用の管理画面が表示され、期間ごとやアプリごとのモバイルデータ通信使用量(目安)が表示されます。

- [データセーバー] ▶ [データセーバー] を [ON] にすると、バックグラウンドデータを制限することができます。

✓お知らせ

- 表示されるデータ通信量は目安です。実際のデータ通信量は「My docomo」で確認できます。
- [モバイルデータ使用量] ▶  [データ上限の設定] をONに設定している場合、データ使用量が指定の上限に達したときは、データ通信が一時停止中であることをお知らせする画面が表示されます。データ通信を再開するには [再開] をタッチします。

◆パケット接続の停止

アプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信を切断するかタイムアウトにならないかぎり、接続されたままになります。必要に応じて、パケット通信の有効/無効を切り替えてください。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [モバイルネットワーク]

2 [データ通信を有効にする]を[オフ]にする

3 内容を確認して[OK]

◆アクセスポイント (APN) の設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント(spモード)はあらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/spmode/>

mopera U、ビジネスmoperaインターネットを利用になる際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。

mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

<https://www.mopera.net/>

- デザリングを有効にしているときは、アクセスポイントの設定はできません。→p.102

◆利用中のアクセスポイントの確認

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名]

◆アクセスポイントの追加 (新しいAPN)

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名]

2 [メニュー] ▶ [新しいAPN]

3 [名前] ▶ ネットワークプロファイル名を入力 ▶ [OK]

4 [APN] ▶ アクセスポイント名を入力 ▶ [OK]

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力 ▶ [メニュー] ▶ [保存]

✓お知らせ

- MCC、MNCの設定を変更してアクセスポイント名の一覧画面に表示されなくなった場合は、アクセスポイントの初期化を行うか、アクセスポイント名の一覧画面で [メニュー] ▶ [新しいAPN] をタッチして再度アクセスポイントの設定を行ってください。

❖ アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[通信の設定]** ▶ **[モバイルネットワーク]** ▶ **[アクセスポイント名]**

2 **[メニュー]** ▶ **[初期設定にリセット]**

✓お知らせ

- アクセスポイント名の一覧画面でアクセスポイントを選択し、**[メニュー]** ▶ **[APNを削除]** をタッチすると、アクセスポイントを1件ずつ削除できます。

❖ テザリング

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使用することにより、USBケーブルやWi-Fi、Bluetooth通信で接続した外部接続機器を、インターネットに接続できるようにする機能です。

- テザリングを有効にした状態では、インターネット接続・メールサービス以外のspモードの機能について、認証できない場合やdアカウントによるログインを求められる場合があります。認証できない場合はテザリングを解除してご利用ください。
- テザリングを利用してインターネットに接続した場合、ご利用の環境によってはWi-Fi対応機器のブラウザやゲームなどのアプリが正常に動作しない場合があります。

❖ USBテザリング

本端末をmicroUSB接続ケーブル 01（別売）でパソコンと接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続できます。

1 本端末とパソコンをUSBケーブルで接続

2 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[通信の設定]** ▶ **[テザリング]** ▶ **[USBテザリング]** を**[オン]** / **[オフ]**

✓お知らせ

- Windows 7、Windows 8.1、Windows 10のパソコンで動作を確認しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

❖ Wi-Fiテザリング

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器をインターネットに接続できます。

- Wi-Fi対応機器を10台まで同時接続できます。
- テザリングは、2.4GHzのみに対応しています。

1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[通信の設定]** ▶ **[テザリング]** ▶ **[Wi-Fiテザリング]** を**[オン]** / **[オフ]**

- Wi-Fiアクセスポイントの設定画面が表示された場合は、必要に応じて設定を変更して**[登録]** をタッチします。→p.102

❖ Wi-Fiテザリングの設定

必要に応じて設定を変更します。

- お買い上げ時の状態では、ネットワーク名には**[F-03K_AP]** が、セキュリティには**[WPA2 PSK AES]** が、**[パスワード]** にはランダムな値が設定されています。

1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[通信の設定]** ▶ **[テザリング]** ▶ **[Wi-Fiアクセスポイントを設定]**

2 ネットワーク名を入力 ▶ セキュリティを選択 ▶ パスワードを入力 ▶ **[登録]** ▶ **[閉じる]**

- セキュリティは**[Open]** **[WEP64]** **[WEP128]** **[WPA2 PSK AES]** **[WPA/WPA2 PSK]** が設定できます。

❖ Wi-Fiテザリングかんたん接続

WPSに対応したWi-Fi対応機器を登録します。

- あらかじめWi-Fiテザリングを**[オン]** にしてください。

1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[通信の設定]** ▶ **[テザリング]** ▶ **[テザリングかんたん接続]**

2 **[プッシュボタン方式]** / **[PIN入力方式]** ▶ **各種操作** ▶ **登録画面**で**[OK]**

- プッシュボタン方式の場合は、Wi-Fi対応機器側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、Wi-Fi対応機器に表示されたPINコードを入力後、**[決定]** をタッチします。

❖ Bluetoothデザリング

Bluetooth機器をインターネットに接続できます。

- Bluetooth機器を4台まで同時接続できます。
- あらかじめBluetooth機器とのペア設定が必要です。→p.68

1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[通信の設定]** ▶ **[デザリング]** ▶ **[Bluetoothデザリング]** を**[オン]** / **[オフ]**

- Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖ VPN（仮想プライベートネットワーク）への接続

VPN（Virtual Private Network：仮想プライベートネットワーク）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- 認証操作が必要になる場合があります。

❖ VPNの追加

1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[通信の設定]** ▶ **[VPN設定]**

2 **[+]** ▶ **VPN設定の各項目を設定** ▶ **[保存]**

❖ VPNへの接続

- VPNに接続すると、ステータスバーに**VPN**（VPN接続中の通知アイコン）が表示されます。

1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[通信の設定]** ▶ **[VPN設定]**

2 接続するVPNを選択

3 必要な認証情報を入力 ▶ **[接続]**

❖ VPNの切断

1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[通信の設定]** ▶ **[VPN設定]**

2 切断するVPNを選択 ▶ **[切断]**

セキュリティの設定

◆ 本端末で利用する暗証番号

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

本端末で利用できる主なネットワークサービスのアカウントに必要な暗証番号/パスワードは次のとおりです。

- ネットワーク暗証番号→p.104
- ドコモアプリパスワード→p.107
- dアカウントパスワード
- dアカウント（→p.107）のパスワードです。お客様が任意に設定した英数字となります。
- Googleアカウントパスワード
- Googleアカウント（→p.108）のパスワードです。アカウント登録時にお客様が任意に設定した英数字となります。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

◆ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に、契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できません。

• ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/password/network/>

◆PINコード

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できません。→p.105

PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。

- 別の端末で利用していたドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。ロックを解除しないと新しいPINコードは設定できません。
- ドコモnanoUIMカードがPINロックされた場合は、ドコモnanoUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

◆PINロック解除コード (PUK)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモnanoUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- ドコモnanoUIMカードがPUKロックされた場合は、ドコモnanoUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

◆セキュリティロック

電源を入れたときやスリープモードから復帰したときに認証操作を必要にして、他人が不正に本端末を使用するのを防ぎます。

◆ロック画面の解除方法の変更

画面ロックの解除時に使用する認証操作の種類などを設定します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [セキュリティの設定] ▶ [解除方法変更]

2 認証操作

- 初めて設定するとき、認証操作は必要ありません。

3 解除方法を選択

ロック画面を表示しない場合：[セキュリティ設定オフ]

パターンの入力で解除：[パターン] ▶ 注意画面で内容を確認し [端末を起動するにはパターンが必須とする] / [必須としない] ▶ [次へ] ▶ 最低4つの点を結びパターンを入力 ▶ [次へ] ▶ もう一度パターンを入力 ▶ [次へ] ▶ [OK]

暗証番号の入力で解除：[暗証番号 (数字のみ)]


▶ 注意画面で内容を確認し [端末を起動するには暗証番号が必須とする] / [必須としない] ▶ [次へ] ▶ 4～8桁の暗証番号を入力 ▶ [次へ] ▶ もう一度暗証番号を入力 ▶ [次へ] ▶ [OK]

パスワードの入力で解除：[パスワード (英数字記号)] ▶ 注意画面で内容を確認し [端末を起動するにはパスワードが必須とする] / [必須としない] ▶ [次へ] ▶ 英字を含む4～16桁のパスワードを入力 ▶ [次へ] ▶ もう一度パスワードを入力 ▶ [次へ] ▶ [OK]

◆セキュリティロックをかける

1 ボタンを押す

スリープモードになり、セキュリティロックがかかります。

- 画面ロックを解除する場合は、 ボタンを押してスリープモードを解除し、セキュリティ解除方法の種類に応じて解除操作を行います。

✓お知らせ

- Googleアカウントを設定している場合に、パソコンやタブレットなどからパスワードによるロックを設定することができます。端末紛失時などは次のURLにアクセスし、本端末に設定されているGoogleアカウントでログインしてください。

<https://www.google.com/android/devicemanager>

- 新しいパスワードを本端末に入力することで、画面ロックを解除することができます。
- Googleアカウントでログインしていない場合は操作できません。

◆ロック画面の解除

1 スリープモード中に ボタンを押す

2 解除方法の種類に応じて解除操作

[パターン] の場合：パターンを入力

[暗証番号 (数字のみ)] の場合：暗証番号を入力 ▶ [決定]

[パスワード (英数字記号)] の場合：パスワードを入力 ▶ [決定]

✓お知らせ

- 解除操作を5回連続して間違えると、「誤った回数が多すぎます」と表示され、残り時間が表示されます。表示が消えてから、もう一度解除操作を行ってください。
- ロックが解除されなくても、ロック画面から緊急通報をかけることができます。→p.42

◆PINコードの設定

◆SIMカードロックの設定

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [セキュリティの設定] ▶ [SIMカードロック]

2 [SIMカードをロック]を[オン]にする

3 PINコードを入力 ▶ [次へ] ▶ [OK]

✓お知らせ

- ご契約時は「0000」に設定されています。

◆PINコードの変更

あらかじめPINコードを設定（SIMカードロックの設定）する必要があります。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [セキュリティの設定] ▶ [SIMカードロック] ▶ [SIM PINの変更]

2 現在のPINコードを入力 ▶ [次へ]

3 新しいPINコードを入力 ▶ [次へ]

4 もう一度新しいPINコードを入力 ▶ [次へ] ▶ [OK]

◆PINコードの入力

1 電源を入れる ▶ コード入力画面でPINコードを入力 ▶ [決定]

◆PINロックの解除

PINコードがロックされた場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

1 コード入力画面でPINロック解除コードを入力 ▶ [決定]

2 新しいPINコードを入力 ▶ [次へ]

3 もう一度新しいPINコードを入力 ▶ [次へ]

◆パスワード表示

暗証番号やパスワードを入力するときに、入力した文字を表示するかどうかを設定します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [セキュリティの設定]

2 [パスワード表示]を[オン] / [オフ]

◆提供元不明のアプリのインストールを許可

Playストア以外のサイトやメールなどから入手したアプリのインストールを許可します。

- 本端末と個人データを保護するため、Playストアなどの信頼できる発行元からのアプリのみダウンロードしてください。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [セキュリティの設定]

2 [提供元不明のアプリ]を[オン]にする

3 [OK]

◆認証情報の管理

信頼できる認証情報や証明書を表示したり、VPNなどに接続するための認証情報やその他の証明書をインストールしたりします。

◆信頼できる認証情報や証明書の表示

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [セキュリティの設定]

2 [信頼できる認証情報]

✓お知らせ

- インストールした証明書を削除する場合は、「認証情報の消去」から削除してください。→p.106

◆認証情報や証明書のインストール

- 認証操作が必要になる場合があります。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [セキュリティの設定]

2 [証明書のインストール]

3 インストールする認証情報／証明書を選択

4 必要な場合はパスワードを入力 ▶ [OK]

5 認証情報／証明書の名前を入力 ▶ [OK]

◆認証情報の消去

すべての認証情報や証明書、VPNの設定を消去します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [セキュリティの設定]

2 [認証情報の消去] ▶ [OK]

◆通知の表示方法の設定

[通知の表示方法を設定] では、ロック画面にすべての通知を表示するかを設定します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [セキュリティの設定] ▶ [通知の表示方法を設定] ▶ [すべての通知内容を表示する]

- 操作1で「一部の通知以外は表示しない」を選択すると、ホーム画面とロック画面に新着通知のみ表示されます。

◆スマートフォンの暗号化の設定

[スマートフォンの暗号化] では、内部ストレージに保存されているシステムデータが暗号化されていることを確認できます。

- 本端末では [スマートフォンの暗号化] の設定を変更することはできません。

ドコモのサービス／クラウド

ドコモのサービスやクラウドの設定を行います。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [ドコモのサービス／クラウド]

2 各項目を設定

dアカウント設定：ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。(Wi-Fi接続時の利用も含む)

ドコモクラウド：ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウドの設定を行います。

ドコモアプリ管理：アプリのアップデートなどを行います。

おすすめ使い方ヒント：おすすめ使い方ヒントの設定や過去に表示されたヒントの確認ができます。

オートGPS：オートGPS機能の設定、測位した場所の履歴の表示ができます。

ドコモ位置情報：イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。

端末エラー情報送信：エラー情報をドコモが管理するサーバーへ送信するための設定を行います。

プロフィール設定：ドコモの各種サービスで利用するお客様のプロフィール情報を、確認・変更できます。

ドコモサービス初期設定：端末を利用するためのサービス設定などを一括して行います。

USBデバッグ切替：ドコモショップなどの専用端末を利用するための設定を行います。

オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

✓お知らせ

- ドコモのサービス／クラウドで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。無効化した場合、ドコモのサービス／クラウドの一覧には表示されなくなることがあります。また、新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすると、ドコモのサービス／クラウドの一覧に項目が追加されることがあります。

エコモードの設定

画面の明るさや表示、端末の処理速度を制限して消費電力を抑えます。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [エコモードの設定]

2 各項目を設定

エコモード：[オン] にすると、すぐにエコモードが起動します。


自動エコモード起動：[電池残量設定] で設定した電池残量より少なくなったときに、エコモードを起動するかどうかを設定します。

電池残量設定：エコモードを起動する電池残量値を設定します。

✓お知らせ

- エコモードは①エコモード、②自動エコモード起動の優先順位で動作します。
- お買い上げ時は、電池をフル充電してから本機能をお使いください。
- アプリによっては、本機能の効果を得られない場合があります。

Googleのアカウントおよびサービスに関する、情報や設定の確認／変更／削除などができます。

- Google設定の詳細については、Google画面で  [ヘルプとフィードバック] をタッチしてヘルプをご覧ください。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [Google]
Google画面が表示されます。

2 各項目を設定

アプリケーションの削除

- Playストアから入手したアプリは、Google Play画面から削除することをおすすめします。→p.72
- お買い上げ時にインストールされているアプリによっては削除できません。また、削除した場合は本端末をリセットすると復元することができます。
- 「アプリの削除」からも、アプリケーションを削除できます。→p.112

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [アプリケーションの削除]

2 削除するアプリを選択

3 [削除する]／[削除しない]

- 操作3で [削除する] を選択した場合は [OK] が表示されるのでタッチしてください。

アカウントの基本設定や管理や追加を行います。

◆アカウントの追加

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [アカウントと同期]

2 [アカウントの追加] ▶ アカウントの種類を選択 ▶ 画面の指示に従って操作

✓お知らせ

- 本端末に複数のGoogleアカウントを追加することができます。
- [本体設定] ▶ [その他] ▶ [アカウントと同期] ▶ [データの自動同期] を[オン]にすると、Googleなどのオンラインサービスの情報を自動的に同期することができます。

◆アカウントの削除

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [アカウントと同期]

2 [アカウントを管理]のアカウントの種類を選択 ▶ 削除するアカウント名をタッチ ▶ [メニュー] ▶ [アカウントを削除] ▶ [アカウントを削除]

- docomoのアカウントは削除できません。

◆手動で同期を開始

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [アカウントと同期]

2 [アカウントを管理]のアカウントの種類を選択 ▶ 同期するアカウント名をタッチ

3 [メニュー] ▶ [今すぐ同期]

■同期の中止

1 同期中に[メニュー] ▶ [同期をキャンセル]

保存領域

◆メモリ容量の確認

本端末、microSDカードの合計容量と空き容量を確認します。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他]
- 2 [保存領域]
- 3 合計容量と空き容量を確認

◆microSDカードのデータ消去 (フォーマット)

• 操作を行うと、microSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他]
- 2 [保存領域] ▶ [microSD内データを消去]
- 3 [消去してフォーマット] ▶ [完了]

自分から設定

健康系のアプリで利用する基本情報や、あわせるビュー、歩数・活動量計の設定を行います。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [自分から設定]

2 各項目を設定

基本設定：誕生日、性別、身長、体重を設定します。

あわせるビュー：年齢に合わせて、画面の色合いを調整するかどうかを設定します。

歩数・活動量計設定：歩数のカウントや活動量の計測を開始するかどうかを設定します。

- カウント中の歩数や計測中の活動量も含めた履歴をすべて削除する場合は、[歩数・活動量の履歴削除] をタッチします。

◆歩数・活動量計ご使用時の注意事項

- 歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して（キャリングケースに入れて腰のベルトなどに装着する、かばんに入れるときは固定できるポケットや仕切りの中に入れる）毎分100～120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。
- 正しく装着していても、手や足など身体の一部のみが動作しているなど歩行や運動が本端末に伝わらない状態では、歩数のカウントや活動量の計測が正確に行われなことがあります。
- 次の場合は歩数が正確にカウントされないことがあります。
 - 本端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則に動くときや、本端末を腰やかばんにぶら下げたとき
 - すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき、混雑した場所を歩くなど歩行が乱れたとき
 - 立ったり座ったり、階段や急斜面の昇り降りをしたり、乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車したりなど、上下運動や振動、横揺れなどが多いとき
 - 歩行以外のスポーツを行ったときや、ジョギングをしたとき、極端にゆっくり歩いたとき
- 本端末に振動や揺れが加わっているときは、歩数／活動量のカウントが正確に行われなことがあります。

✓お知らせ

- 誤カウントを防ぐために歩行を始めたかどうかを判断しているため、歩き始めは数値が変わりません。目安として4秒程度歩くところまでの歩数が加算されます。
- カウントした歩数と計測した活動量は約60分ごとに保存されます。本端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されていない歩数や活動量が消失してしまう場合があります。
- 歩数のカウントが更新されない場合は、画面を表示し直すと反映されます。
- 歩数や活動量の情報は本端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失してしまう場合があります。また、電池パックを外した状態や電池残量がゼロの状態ですら約1か月以上経過すると消失してしまう場合があります。万が一、消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

バックアップ・リセット

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [バックアップ・リセット]

2 各項目を設定

データのバックアップ：アプリの設定やデータなどをGoogleサーバーにバックアップするかを設定します。

バックアップアカウント：Googleサーバーにバックアップするアカウントを設定します。

自動復元：アプリの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元するかを設定します。

データの初期化：操作方法→p.110

✓お知らせ

- メールデータを復元するには、復元完了後に表示される画面で「メールアプリを起動する」をタッチし、画面の案内に従って操作を行ってください。

◆本端末の初期化

本端末をお買い上げ時の状態に戻します。本端末にお客様がインストールしたアプリや登録したデータは、一部を除き削除されます。

- 初期化中に電源を切ったり、電池パックを取り外したりしないでください。
- microSDカードのデータ消去については「microSDカードのデータ消去（フォーマット）」をご覧ください。→p.109

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [バックアップ・リセット] ▶ [データの初期化]

本体の各種設定及び、保存領域の全データが削除される旨のメッセージが表示されます。

2 [モバイル端末をリセット]

3 [削除する]

リセットが完了してしばらくたつと、本端末が再起動します。

✓お知らせ

- 初期化後、タッチパネル操作が正しく動作しない場合などは、電源を入れ直してください。

日付と時刻の設定

日付と時刻に関する設定を行います。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [日付と時刻]

2 各項目を設定

24時間表示：時計表示を24時間表示にするか、12時間表示にするかを設定します。

自動設定：ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正するかどうかを設定します。

日付設定：日付を手動で設定します。

- [自動設定] を [オフ] にすると、設定できません。

時刻設定：時刻を手動で設定します。

- [自動設定] を [オフ] にすると、設定できません。

タイムゾーン自動設定：ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正するかどうかを設定します。

タイムゾーンの選択：タイムゾーンを手動で設定します。

- [タイムゾーン自動設定] を [オフ] にすると、設定できます。

✓お知らせ

- 表示形式を12時間表示に設定しても、写真／動画の情報で表示される時刻などは、12時間表示では表示されません。

カメラキー長押し動作の切替

ホーム画面でのカメラボタン (📷 ボタン) 長押し時の動作の切替を行います。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [カメラキー長押し動作の切替]

2 [静止画撮影の起動] / [動画撮影の起動] を選択

◆クラウドプリントでプリンタを接続

Googleクラウドプリント機能で、パソコンで日常使っているプリンタを接続して、本端末で表示している静止画やブラウザのWebページなどを印刷することができます。

また、クラウド対応プリンタの場合は、パソコンなしでインターネット接続してGoogleクラウドプリントのアカウントに関連付けしたプリンタとして接続できます。

- Googleクラウドプリントを利用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。
- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。
- Googleクラウドプリント機能の詳細については、GoogleのホームページでGoogleクラウドプリントのヘルプをご覧ください。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [印刷]

2 [サービスを追加] ▶ クラウドプリントのプラグインを選択 ▶ インストール操作を行う

3 インストール後に表示される[クラウドプリント] ▶ 画面右上のボタンをタッチ

✓お知らせ

- あらかじめGoogleアカウントでプリンタの接続設定ができていない場合は、印刷時に接続できるプリンタを含むクラウドプリントメニューが表示されます。
- パソコンの印刷環境で日常使っているプリンタ、またはクラウド対応プリンタの接続設定ができていない場合は、プリンタの検索中画面の後に表示されるクラウドプリント画面で ⓘ ▶ [プリンタを追加] をタッチして接続方法を確認して接続を設定してください。

〈例〉Chromeで印刷する

1 ホーム画面で[Google] ▶ [Chrome] ▶ ⋮ ▶ [共有...] ▶ [印刷]

- クラウドプリントの場合、プリンタの代わりに画面左上の「ドライブに保存」 ▶ [PDF形式で保存] / [ドライブに保存] を選択すると、印刷データをGoogleドライブに保存したり、PDFデータを作成したりできます。

2 各項目を設定

- 部数や用紙サイズなどを設定します。

3 印刷を実行

✓お知らせ

- 印刷可能なデータは、使用しているアプリの印刷機能への対応状況により異なります。

端末情報

本端末に関する各種情報を表示します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [端末情報]

2 項目を確認

ソフトウェアアップデート：→p.126

端末の状態：電池の状態、電話番号、各種ネットワーク名やアドレス、IMEI（個別のシリアルナンバー）などを表示します。

法的情報：オープンソースライセンスやGoogle利用規約などに関する詳細を表示します。

モデル番号 / Androidバージョン / Androidセキュリティパッチレベル / ベースバンドバージョン / カーネルバージョン / ビルド番号：各バージョンや番号を表示します。

高度な設定

◆アプリケーション

インストールしたアプリの管理や削除などを行います。

※本端末のアプリに許可されている動作の表示

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定] ▶ [アプリケーション]

2 アプリを選択

※アプリのデータやキャッシュの消去

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定] ▶ [アプリケーション]

2 アプリを選択 ▶ [ストレージ]

3 [データを消去] / [キャッシュを消去]

4 [OK]

※アプリの削除

- Playストアから入手したアプリは、Google Play 画面から削除することをおすすめします。→p.72
- お買い上げ時にインストールされているアプリによっては削除できません。また、削除した場合は本端末をリセットすると復元することができます。
- 「アプリケーションの削除」からもアプリケーションを削除できます。→p.108

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定] ▶ [アプリケーション]

2 アプリを選択

3 [アンインストール] ▶ [OK]

✓お知らせ

- アプリを削除すると、ホーム画面のアイコンも消去されます。

※アプリの無効化

- アプリの無効化は、アンインストールできない一部のアプリやサービスで利用できます。無効化したアプリは、ホーム画面に表示されず、起動もできなくなります。ただし、アンインストールはされていません。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定] ▶ [アプリケーション]

2 アプリを選択

3 [無効にする] / [有効にする]

- [無効にする] を選択した場合は [アプリを無効にする] をタッチします。

✓お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しないことがあります。その場合、再度アプリを有効にすることで正しく動作します。有効にしたアプリは、「ダウンロードしたアプリ」カテゴリに配置されます。

※アプリの強制停止

アプリがフリーズして画面が停止した場合、強制停止することで回避します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定] ▶ [アプリケーション]

2 アプリを選択

3 [強制停止] ▶ [OK]

◆ユーザー補助

ユーザー操作を補助する設定を行います。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定] ▶ [ユーザー補助]

2 各項目を設定

おすすめ使いかたヒント：操作や利用状況にあわせて、使いかたのヒントを利用できるように設定します。

モノラル音声：音声をモノラルで出力します。

あんしんスキャン：不審なサイトをブロックするセーフブラウジング機能を利用できるように設定します。

テキスト読み上げの出力：→p.113

色反転：色を反転させるかを設定します。

色補正：色補正機能に関する設定をします。

◆テキスト読み上げの出力


テキスト読み上げに関する設定を行います。

1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[その他]** ▶ **[高度な設定]** ▶ **[ユーザー補助]**

2 **[テキスト読み上げの出力]**

3 各項目を設定

Googleテキスト読み上げエンジン：Googleテキスト読み上げエンジンを使用します。

-  をタップすると、読み上げる言語や音量の増幅、各言語の音声データのインストールなど詳細な設定ができます。

音声の速度：読み上げる速さを設定します。

音の高さ：音声の高さを設定します。

読み上げ速度のリセット：読み上げる速度をリセットします。

音声の高さをリセット：読み上げる音声の高さをリセットします。

サンプルを再生：サンプルを再生します。

デフォルト言語のステータス：読み上げに設定されている言語を表示します。

✓お知らせ

- テキスト読み上げ機能を利用するには、Playストアなどからあらかじめ読み上げアプリを本端末にインストールしておく必要があります。→p.71
読み上げアプリの使いかたについて詳しくは、お使いのアプリのヘルプなどをご覧ください。

◆デバイス管理機能の選択

デバイス管理機能を表示または無効にします。

1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[その他]** ▶ **[高度な設定]** ▶ **[デバイス管理機能の選択]**

2 項目を選択

3 **[この端末管理アプリを有効にする]** / **[この端末管理アプリを無効にする]**

◆NFC設定

- NFCについて→p.69

◆通知へのアクセス

通知にアクセスできるアプリに対して、アクセスを許可するかを設定します。

1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[その他]** ▶ **[高度な設定]** ▶ **[通知へのアクセス]**

2 通知するアプリをタッチ


3 **[許可しない]** / **[許可]**

◆利用アプリの固定


現在起動しているアプリを固定して、他のアプリを利用できないように設定できます。

1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[その他]** ▶ **[高度な設定]** ▶ **[利用アプリの固定]**

2 画面右上のボタンをタッチして**[利用アプリの固定]**をONにする

3  (ホームボタン)または**[戻る]**をタッチしてホーム画面に戻る

4 アプリケーションの履歴を表示させる→p.26


5 固定したいアプリのをタッチ

6 アプリ固定確認画面の**[はい]**をタッチ

7 **[OK]**

- アプリの固定を解除するには、**[戻る]**と**[履歴]**を同時にロングタッチします。

✓お知らせ

- 操作2で**[解除時のセキュリティ認証]**をONにすると、アプリの固定を解除するときにセキュリティの解除操作が必要になるように設定できます。
- 履歴が多い場合は固定したいアプリを上へスライドさせないとが表示されません。

◆使用履歴にアクセスできるアプリ

端末上のアプリ使用履歴データにアクセスできるアプリを管理します。

1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[その他]** ▶ **[高度な設定]** ▶ **[使用履歴にアクセスできるアプリ]**

◆SIMのステータス

ネットワーク、モバイルネットワークの種類などのSIMのステータスが確認できます。

1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[その他]** ▶ **[高度な設定]** ▶ **[SIMのステータス]**

◆電池の使用量

電池残量、電池使用可能な残り時間、使用中のアプリを表示します。

1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[その他]** ▶ **[高度な設定]** ▶ **[電池の使用量]**

◆電池の最適化

アプリごとの電池消費を抑えるために、本端末を使用していないときやアプリが数日間使用されていないときにアプリを無効にします。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定] ▶ [電池の最適化]
- 2 [最適化していないアプリ] / [すべてのアプリ]
- 3 設定を変更するアプリを選択 ▶ [最適化する] / [最適化しない] ▶ [完了]

◆アプリケーションの履歴を表示しない

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定] ▶ [アプリケーションの履歴を表示しない]
- 2 [オン] / [オフ]

◆Smart Lock

外部機器からの接続時や顔認証などで画面ロックを解除する方法について設定します。

- あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→p.104

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定] ▶ [Smart Lock] ▶ 認証操作
- 2 各項目を設定
 - Smart Lockの詳細については、 [ヘルプ] をタッチしてヘルプをご覧ください。

国際ローミング (WORLD WING) の概要


国際ローミング (WORLD WING) とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になります。

国際ローミング (WORLD WING) の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/>

- 本端末はLTEネットワーク、3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用になります。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用になります。

✓お知らせ

- 国番号／国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号／接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。
- 「ドコモ海外利用」アプリのヘルプは、次の操作をご覧ください。
 - ホーム画面で [トラベル] ▶ [ドコモ海外利用] ▶ 

主な通信サービス	LTE	3G	3G850	GSM (GPRS)
電話	○	○	○	○
SMS	○	○	○	○
パケット通信※	○	○	○	○

※ ローミング時にパケット通信を利用するには、データローミングの設定を [オン] にしてください。→ p.116

✓お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用にならないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、次の方法で確認してください。
 - ホーム画面で [本体設定] ▶ [その他] ▶ [端末情報] ▶ [端末の状態] ▶ [ネットワーク]

海外でご利用になる前に

◆ 出発前の確認

海外でご利用になる際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 充電について

充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

■ 料金について

海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。

• ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

◆ 事前設定

■ ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス、転送でんわサービス、番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

• 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始する必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。日本国内から（→p.47）、海外から（→p.119）

• 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

◆ 滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について

[モバイルネットワーク] の [通信事業者] を [自動的に選択] に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

◆ 海外で利用するための設定

❖ データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、データローミングの設定を [オン] にする必要があります。

1 ホーム画面で [本体設定] ▶ [通信の設定]

2 [モバイルネットワーク]

3 [データローミング] を [オン] / [オフ]

• [オン] にする場合は、[許可する] をタッチします。

❖ 通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面で [本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [通信事業者]

利用可能なネットワークを検索して表示します。

• ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、パケット通信を無効にしてから再度実行してください。→p.101

2 通信事業者のネットワークを選択

✓お知らせ

• 自動でネットワークを切り替える場合は、ホーム画面で [本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [通信事業者] ▶ [自動的に選択] に設定してください。

❖ ネットワークモードの設定

1 ホーム画面で [本体設定] ▶ [通信の設定]

2 [モバイルネットワーク] ▶ [ネットワークモード]

3 [4G/3G/GSM(自動)] / [3G/GSM] / [GSM] のいずれかをタッチ

✓お知らせ

• 滞在先で [GSM] に設定した場合は、日本に帰国後、[4G/3G/GSM(自動)] に設定してください。

❖ 国際ローミング中にVoLTEを利用する

国際ローミング中にVoLTEが利用可能なときは、VoLTEを使用できるように設定します。

1 ホーム画面で**[本体設定]** ▶ **[通信の設定]** ▶ **[モバイルネットワーク]**

2 **[通話モード設定]**を**[オン]**／**[オフ]**

❖ 日付と時刻について

日付と時刻を自動設定、タイムゾーンを自動設定に設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手でタイムゾーンを設定してください。

- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。

- 「日付と時刻」→p.110

❖ お問い合わせについて

- 本端末やドコモnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国内に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

◆ 滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国外から他の国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で**[電話／電話帳]**

2 **+(「0」をロングタッチ)** ▶ **[国番号-地域番号(市外局番)の先頭の0を除いた電話番号]**を入力

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

- 電話をかける相手が海外でのWORLD WING利用者の場合は、滞在国内外に関わらず国番号として「81」（日本）を入力してください。

3 **[電話をかける]**

ビデオコールをかける：[メニュー] ▶ **[ビデオコールをかける]** ▶ **[かける]**

- [国際ダイヤルアシスト] の [自動変換機能] を [オン] に設定している場合、日本への発信は日本国内のとときと同様に市外局番から入力 ▶ **[電話をかける]** ▶ **[変換後の番号で発信]** をタッチします。

✓お知らせ

- ビデオコールの詳細については、「電話／ビデオコールをかける」をご覧ください。→p.41

◆ 滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面で**[電話／電話帳]**

2 **電話番号を入力**

- 地域番号（市外局番）から入力してください。

- 電話をかける相手がWORLD WING利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として（国番号として「81」（日本）を入力）電話をかけてください。

3 **[電話をかける]**

◆ 滞在先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

✓お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

❖ 相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際アクセス番号-81-90（または80、70）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [電話の設定] ▶ [海外設定]

2 各項目を設定

ローミング時着信規制：国際ローミング中に着信を規制することができます。

ローミング時着信通知：国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。

ローミングガイドンス：国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイドンスを流すことができます。

国際ダイヤルアシスト：→p.118

ネットワークサービス：→p.119

◆ 国際ダイヤルアシストの設定

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [電話の設定] ▶ [海外設定] ▶ [国際ダイヤルアシスト]

2 各項目を設定

自動変換機能：国際プレフィックスまたは国番号を自動で追加します。

- ・ [オン] / [オフ] で設定します。

国番号：自動変換機能で使用される国番号を選択します。

国際プレフィックス：自動変換機能で使用される国際プレフィックスを選択します。

◆ ネットワークサービス（海外）の設定

滞在国内で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ「遠隔操作設定」を開始しておく必要があります。→p.47
- 海外から操作した場合は、滞在国内から日本までの通話料がかかります。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で【本体設定】▶【電話の設定】▶【海外設定】▶【ネットワークサービス】

2 サービスを選択

遠隔操作（有料）：遠隔操作を開始するかどうかを設定します。

番号通知お願いサービス（有料）：発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に発信者に番号通知を依頼するガイダンスを流します。

ローミング着信通知（有料）：→p.118

ローミングガイダンス（有料）：→p.118

留守番電話サービス（有料）：電波が届かないところにいる、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします。（お申込み必要）

転送でんわサービス（有料）：かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます。（お申込み必要）

3 画面表示に従って操作

4 音声ガイダンスに従って操作

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、次の設定を行ってください。

- [モバイルネットワーク] の[ネットワークモード] を [4G/3G/GSM（自動）] に設定します。→ p.116
- [モバイルネットワーク] の [通信事業者] を [自動的に選択] に設定します。→p.116

トラブルシューティング (FAQ)

◆故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったらときに、お客様ご自身で診断することができます。詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/>
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→p.126
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■電源・充電

●本端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。
→p.22
- 電池切れになっていませんか。→p.23

●充電ができない（お知らせランプが点灯しない、または点滅する）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。
→p.22
- アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリーソケットに正しく差し込まれていますか。
- 別売りのACアダプタをご使用の場合、ACアダプタのmicroUSBプラグが本端末に正しく接続されていますか。→p.24
- 付属の卓上ホルダを使用する場合、ACアダプタのmicroUSBプラグが卓上ホルダと正しく接続されていますか。→p.24
- 付属の卓上ホルダを使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- 別売りのmicroUSB接続ケーブル 01などをご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇してお知らせランプ（赤色）が消える場合があります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後に本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■端末操作・画面

●突然電源が落ちる、再起動が起きる

電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

●タッチしたり、ボタンを押したりしても動作しない

- 電源が切れていませんか。→p.25
- スリープモードになっていませんか。☒ボタンを押して解除してください。→p.25

●電池の使用時間が短い

- 複数のアプリを起動していると、電池の消費が増えて使用時間が短くなることがあります。次の方法で使用していないアプリを終了してください。
- 実行中のアプリを終了→p.26
- 圏外状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時と比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。
- Wi-Fi機能やBluetooth機能を使用していないときは、OFFに設定してください。→p.99、p.68

●ドコモnanoUIMカードが認識されない

ドコモnanoUIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→p.20

●タッチパネルをタッチしたとき／ボタンを押したときの画面の反応が遅い

本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

●操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながら電話やテレビの視聴などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。→p.23

●操作中・充電中に熱くなり、機能が利用できない

本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電またはご使用中の一部機能を利用できないことがあります。

● 端末が熱くなり、電源が切れる

カメラの使用やインターネット接続などを長時間行った場合など、本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電や機能が停止することがあります。また、やけどを防ぐため本端末の電源が切れることがあります。

● ディスプレイが暗い

- 次の設定を変更していませんか。
 - 非常用節電モードの設定→p.27
 - 画面の明るさの設定→p.96
 - 消灯までの時間設定（スリープモード）→p.96
 - エコモードの設定→p.107
- 本端末の温度が高い状態が続く場合は、ディスプレイが暗くなる場合があります。

● ディスプレイがちらつく

画面の明るさの設定の自動調整を設定している、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されたとき、ちらついて見える場合があります。→p.96

● ディスプレイに残像が残る

- 本端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、しばらくの間ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- しばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

● 時計がずれる

長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付と時刻の自動設定やタイムゾーン自動設定を「オン」に設定し、電波のよい所で電源を入れ直してください。→p.110

● 端末動作が不安定

- ご購入後に端末へインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（ご購入時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。次の方法でセーフモードを起動してください。
 - 電源を切った状態で [電源] ボタンを2秒以上押し、docomoのロゴ表示が消えてからトップ画面が表示されるまでの間、 [電源] ボタンを押し続けるセーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。セーフモードを終了させるには、電源を入れ直してください。
- ※ 事前に必要なデータをバックアップしてからセーフモードをご利用ください。
- ※ セーフモードを起動すると、ダウンロードしたアプリがホーム画面やメニュー一覧に表示されず、起動もできなくなります。セーフモードを終了すると、非表示になっていたあらかじめインストールされているアプリが「ダウンロードしたアプリ」カテゴリに配置されます。

※ セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合にはセーフモードを終了し、ご利用ください。

※ アプリやウィジェットによっては消去される場合があります。

● アプリが正しく動作しない（アプリが起動できない／エラーが頻繁に起こる）

無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから、再度操作してください。→p.112

● タッチしても正しく操作できない

- 手袋をしたままで操作していませんか。
- 爪の先で操作したり、異物を操作面に乗せたままで操作したりしていませんか。
- ディスプレイに保護シートやシールなどを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。
- タッチパネルが濡れたままで操作したり、指が汗や水などで濡れた状態で操作したりしていませんか。
- 水中で操作していませんか。
- 指で直接タッチパネルに触れて操作してください。

● データが正常に表示されない／タッチパネルを正しく操作できない

電源を入れ直してください。→p.25

■ 通話・音声

● 【電話をかける】をタッチしても発信できない

機内モードを設定していませんか。→p.95

● 通話中、相手の声が聞こえにくい／相手の声が大きすぎる

通話音量を調節してください。また、はっきりボイス、あわせるボイス、ゆっくりボイスを設定すると相手の声が聞き取りやすくなります。→p.44

●通話ができない(場所を移動しても圏外の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)

- 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモ nanoUIMカードを取り付け直してください。→ p.20、p.22、p.25
- 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[]」を表示している状態でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。→p.47
- ネットワークモードの種類(4G/3G/GSM)を変更していませんか。→p.116
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください(音声サービス)」と表示され、話中音流れれます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

●着信音が鳴らない

- 電話着信時の音量設定を確認してください。→ p.97
- 次の機能を起動していませんか。
 - マナーモード→p.94
 - 機内モード→p.95
 - 運転中モード→p.94
- 着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。→p.47
- 伝言メモの応答時間設定を0秒に設定していませんか。→p.46
- 留守番電話サービスの呼出時間設定、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していませんか。→p.47

●電話がつかまらない

- ドコモ nanoUIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→p.20
- 市外局番から入力していますか。
- 機内モードを設定していませんか。→p.95

■メール

●メールを自動で受信しない

- メールの受信設定の「自動通信設定」を「自動で通信しない」に設定していませんか。→p.55
- パソコンメールのアカウント個別の設定の「受信間隔」を「自動受信は行わない」に設定していませんか。→p.60

■テレビ・カメラ

●テレビの視聴ができない

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外にいるか放送波の弱い場所にいませんか。ワンセグアンテナを十分に伸ばし、向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態がよくなる場合があります。→p.75
- 視聴している地域に合ったチャンネルリストを使用していますか。→p.77

●カメラで撮影した写真やビデオがぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していませんかを確認してください。
- 本端末のカメラには自動撮影機能が搭載されていますが、タッチオートフォーカスの機能を利用してもピンポイントを合わせることができます。→ p.80、p.83

■おサイフケータイ

●おサイフケータイが使えない

- 電池パックを取り外したり、おまかせロックを設定したりすると、おサイフケータイ ロックの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。
- おサイフケータイ ロックを設定していませんか。→p.74
- 本端末のマークがある位置を読み取り機にかけられていますか。→p.73

■海外利用

●海外で、[]が表示されているのに本端末が使えない

WORLD WINGのお申し込みをされていますか。WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

●海外で、圏外が表示され本端末が使えない

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者がどうか、ドコモのホームページをご覧ください。
- ネットワークモードの種類を「4G/3G/GSM(自動)」に変更してください。→p.116
- 通信事業者を自動選択に設定してください。→ p.116
- 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→p.25

●海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった

利用停止目安額を超えていませんか。国際ローミング(WORLD WING)のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

●海外で電話がかかってこない

ローミング時着信規制を規制開始にしていませんか。→p.118

- 相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

- 海外でデータ通信ができない

データローミングの設定を確認してください。→ p.116

■データ管理

- microSDカードに保存したデータが表示されない

microSDカードを取り付け直してください。→ p.21

- データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

- 画像を表示しようとすると【壊れているか利用できない形式です】と表示される

画像データが壊れている場合は【壊れているか利用できない形式です】と表示される場合があります。

■Bluetooth機能

- Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない

Bluetooth通信対応機器（市販品）側を検出できる状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して、再度機器登録を行うには、本端末とBluetooth通信対応機器（市販品）の両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。

- カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない

相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

◆エラーメッセージ

- 空き容量低下

端末の空き容量が低下しています。このままご使用になられると一部機能がアプリケーションが動作しない場合があります。不要なデータを削除し、容量を確保してください。（例えば、アルバム内の撮影データを削除するなど）

端末の空き容量が低下している場合に表示されます。アルバム内の写真やビデオのデータを削除することで、端末の空き容量を増やすことができます。

- しばらくお待ちください（音声サービス）／しばらくお待ちください（データサービス）

音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

- 電池残量がありません。シャットダウンします。

電池残量がありません。充電してください。→ p.23

- PUKコードがロックされました

ドコモnanoUIMカードのPINロック解除コード（PUK）の入力に10回連続して間違えた場合に表示されます。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。→p.104

- SIMカードはPUKでロックされています

ドコモnanoUIMカードがPINロック解除コード（PUK）でロックされているときに表示されます。正しいPINロック解除コード（PUK）を入力してください。

- SIMカードが挿入されていません

ドコモnanoUIMカードが正しく取り付けられていないか確認してください。→p.20

- SIMカードはロックされています。

PINコードを有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。→p.105

- SIM card 異常

SIMカードが取り外されました。端末を再起動します。

ドコモnanoUIMカードのICが汚れているときに表示されることがありますが、故障ではありません。ドコモnanoUIMカードのICは定期的に清掃してください。また、電源が入っている状態ではドコモnanoUIMカードを取り外さないでください。正常に動作しなくなる場合があります。

あんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定やアプリの使い方、パソコンなどの周辺機器との接続に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモnanoUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- あんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

- あんしん遠隔サポートセンターへ電話
ドコモの携帯電話からの場合:**
(局番なしの)15710(無料)
一般電話などからの場合:
☎ 0120-783-360
受付時間:午前9:00~午後8:00(年中無休)

- 本端末からあんしん遠隔サポートセンターへ電話する場合は、ホーム画面で [あんしんツール] ▶ [遠隔サポート] ▶ [このスマートフォンから発信する] ▶ [電話をかける] をタッチします。

- ホーム画面で [あんしんツール] ▶ [遠隔サポート]

- [遠隔サポートの接続画面に進む] ▶ [同意する]

- ドコモからご案内する接続番号を入力

- 接続後、遠隔サポートを開始

✓お知らせ

- 通話中画面の [メニュー] から遠隔サポートを起動できます。→p.44

保証とアフターサービス

◆保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- リアカバー F90、電池パック F35、卓上ホルダ F46は無料修理保証の対象外となります。
- 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
- ※本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

◆アフターサービスについて

■調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください(→p.120)。それでも調子がよくないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

■お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただけます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良(外部接続端子・ディスプレイなどの破損)による故障・損傷、ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- ・お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
 - ・ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合
- ※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後4年間を基本としております。

修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/shop/compatible/index.html>
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

■ お願い

- ・本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- ・次のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る
 - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- ・本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますのでご注意ください。


- ・各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定してくださいようお願いいたします。その際、設定によってはバケット通信料が発生する場合があります。
- ・修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- ・本端末は磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- ・本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するバケット通信料は、ドコモでは補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアアップデート

◆ソフトウェアアップデートについて

ソフトウェアアップデートとは、ネットワークに接続してアップデートが必要かを確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードし、インストールする機能です。アップデートが必要な場合には、ステータスバーの (ソフトウェアアップデート) やドコモのホームページにてご案内いたします。

- ソフトウェアアップデートには、以下の内容などが含まれます。本端末を安全でより快適にご利用いただくため、必ず最新バージョンへのアップデートをお願いいたします。
 - 機能の向上や追加
 - 操作性の向上
 - 品質改善
 - セキュリティパッチの最新化

✓お知らせ

- アップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

◆注意事項

- アップデートを行うと、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- アップデートの際、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的に当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- Xi/FOMAでのパケット通信をご利用の場合、ダウンロードに通信料金は発生しません。
- パケット通信を利用したアップデートにはドコモ契約のドコモnanoUIMカードが必要です。なお、アップデートの内容によってはパケット通信を利用した場合、spモードの契約が必要になる場合があります。
- インストール中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。
- インストール中は、すべてのキー操作が無効となり、途中で中止することはできません。
- アップデートが完了すると再起動がかかります。
- アップデートを行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。

- 「端末を起動するには暗証番号が必須とする」 / 「端末を起動するにはパスワードが必須とする」が設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、暗証番号等の入力画面が表示されます。暗証番号 / パスワードを入力しないと電話やSMS、目覚ましなどの機能の通知が動作しません。
- アップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
- アップデート中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- アップデートには時間がかかることがあります。
- 以下の場合はアップデートができません。
 - 通話中
 - 圏外が表示されているとき
 - 親機としてデザリングをしているとき
 - 日付・時刻を正しく設定していないとき
 - 必要な電池残量がないとき
 - 本体メモリに必要な空き容量がないとき
 - 基本ソフトウェアを不正に変更しているとき
- 国際ローミング中にアップデートを行う場合は、Wi-Fi接続（UIMカード未挿入）で行ってください。
- インストールを行う前に、すべてのアプリを終了してください。
- 本端末の電池残量がフル充電の状態で行ってください。
- アップデート中は電源を切ったり、電池パックを外したりしないでください。
- ダウンロード中は電波状態のよい所で、移動せずに行うことをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。
- アップデートが不要な場合は、「アップデートの必要はありません。このままご利用ください。」と表示されます。
- アップデート可能期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ソフトウェアのアップデート

アップデートは、お客様自身でインストールを実行していただく必要があります。通知パネルを開く ▶ 通知をタッチ ▶ [インストール] をタッチしてください。

■自動ダウンロード設定を変更する

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [端末情報] ▶ [ソフトウェアアップデート]

2 「自動ダウンロード」を[ON] / [OFF]

- [ON] をタッチした場合は、内容をご確認の上 [OK] をタッチしてください。
- 「自動ダウンロード」を [OFF] にした場合、「手動でダウンロードする」(→p.127) の操作を行ってください。


■手動でダウンロードする

• ステータスバーにアイコンが表示されない場合は、以下の操作でアップデートを実行できます。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [端末情報] ▶ [ソフトウェアアップデート] ▶ [今すぐ更新]


2 インストールを開始するメッセージが表示されたら[インストール]

✓お知らせ

- 本端末のソフトウェアが最新の場合には、「アップデートの必要はありません。このままご利用ください。」と表示されます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードしたデータは最長14日間保持されます。ダウンロードを再開する場合は、通知パネルの  (ダウンロードが中断されました) から再開できます。

◆アプリのアップデート

■Playストアからアップデートする

ホーム画面で [Play ストア] ▶ Google Play画面の  をタッチ ▶ [マイアプリ&ゲーム] より各アプリのアップデートを行ってください。

- 各アプリのOSバージョン対応状況については、アプリの提供元へご確認ください。
- アップデート後、アプリのアップデートがあるかどうかをご確認ください。アプリのアップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。必ず最新バージョンへのアップデートをお願いいたします。

主な仕様<仕様確認中>

■本体

品名	F-03K	
サイズ	高さ約137mm×幅約67mm×厚さ約9.9mm	
質量	約138g (電池パック装着時)	
内蔵メモリ	ROM : 16GB RAM : 2GB	
連続待受時間※1, 2	FOMA / 3G	静止時 (自動) : 約630時間
	GSM	静止時 (自動) : 約520時間
	LTE	静止時 (自動) : 約580時間
連続通話時間※2, 3	FOMA / 3G	約590分
	GSM	約580分
	VoLTE (音声通話)	VoLTE : 約690分 VoLTE (HD+) : 約670分
ワンセグ連続視聴時間※4	約550分	
充電時間※5	ACアダプタ 05 : (単独) 約130分、(卓上ホルダ F46使用時) 130分 DCアダプタ 05 : 約130分	
ディスプレイ	種類	有機EL
	サイズ	約4.5inch
	発色数	16777216色
解像度	横720×縦1280ピクセル (HD)	
	種類	外側カメラ : 裏面照射積層型 CMOS 内側カメラ : 裏面照射型CMOS
撮像素子	サイズ	
	外側カメラ : 1/3.0inch 内側カメラ : 1/5.0inch	
カメラ有効画素数	外側カメラ : 約1310万画素 内側カメラ : 約500万画素	
カメラ記録画素数 (最大時)	外側カメラ : 約1280万画素 内側カメラ : 約500万画素	
デジタルズーム	静止画	外側カメラ : 最大約6.0倍 (80段階)
	動画	
静止画記録サイズ	外側カメラ : 13M最高画素 (4128×3096) 9Mワイド (4128×2336) 3M (2048×1536) フルHD (1920×1080) ケータイメール (640×480) 内側カメラ : 5M最高画素 (2592×1944) 3Mワイド (2592×1458) 3M (2048×1536) フルHD (1920×1080) ケータイメール (640×480)	

動画記録サイズ		外側カメラ： フルHD (1920×1080) 画面びったり (1280×720) サイズ小 (640×480) 内側カメラ： フルHD (1920×1080) 画面びったり (1280×720) サイズ小 (640×480)
無線LAN		IEEE802.11a/b/g/n/ac 準拠※6
Bluetooth 機能	バージョン	4.2※7
	出力	power class 1
	対応 プロファイル ※8	HFP (1.6)、HSP (1.2)、 OPP (1.2)、SPP (1.2)、 HID (1.0)、A2DP (1.2) ※ 9、AVRCP (1.5)、PBAP (1.2)、PAN (1.0) ※10、 HDP (1.0)、ANP (1.0)、 FMP (1.0)、PASP (1.0)、 PXP (1.0)、TIP (1.0)、 HOGP (1.0)
イヤホンマイク ジャック		φ3.5mmイヤホンジャック 4極
表示言語		日本語
入力言語 (文字入力)		日本語、英語

- ※1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、待受時間が約半分程度になる場合があります。
- ※2 通話やインターネット接続をしなくてもアプリを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- ※3 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。
- ※4 ワンセグ連続視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で視聴できる時間の目安です。
- ※5 充電時間とは、本端末の電源を切って、電池パックの電池残量がゼロの状態から充電したときの目安です。本端末の電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。
- ※6 IEEE802.11nは、2.4GHz/5GHzに対応しています。また、IEEE802.11n/acは、MU-MIMOに対応しています。
- ※7 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- ※8 Bluetooth機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
- ※9 音声コーデックSBCに対応しています。
- ※10 PAN-NAP、PANUに対応しています。

■電池パック

品名	電池パック F35
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.8V
公称容量	2100mAh

◆本端末で撮影した静止画と動画のファイル形式について

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	.jpg
動画	MP4	.mp4

◆動画の録画時間（目安）

撮影サイズ	動画1件あたりの最大録画時間
フルHD (1920×1080)	約36分

◆本端末で表示できるファイルについて

本端末の「Document Viewer」アプリは、次のファイルの表示に対応しています。

ファイルの種類	拡張子
Microsoft Word 2003	.doc
Microsoft Excel 2003	.xls
Microsoft PowerPoint 2003	.ppt
Microsoft Word 2007/2010	.docx
Microsoft Excel 2007/2010	.xlsx
Microsoft PowerPoint 2007/2010	.pptx
テキスト	.txt
PDF	.pdf

携帯電話機の比吸収率 (SAR)

この機種F-03Kの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^{*1}ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.675W/kg^{*2}、身体に装着した場合のSARの最大値は0.373W/kg^{*3}です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属 (部分) が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/elect/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpaO2-O2.html>

ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>
富士通のホームページ

<http://www.fmwORLD.net/product/phone/sar/>

- *1 技術基準については、電波法関連省令 (無線設備規則第14条の2) で規定されています。
- *2 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。
- *3 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones

This model F-03K mobile phone complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves^{*1} and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.

The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is 0.675 W/kg^{*2} and when worn on the body is 0.373 W/kg^{*3}. There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit. The actual SAR of this mobile phone while operating can be well below that indicated above.

This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network.

Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. Please keep the

mobile phone farther than 1.5 cm away from your body by using such as a carrying case or a wearable accessory without including any metals. This mobile phone satisfies the technical regulations and international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm
Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:

<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses Website:

<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html> (in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:

<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>

FUJITSU LIMITED Website:

<http://www.fmworld.net/product/phone/sar/> (in Japanese only)

*1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).

*2 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

*3 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

◆ Declaration of Conformity

Trade Mark: Fujitsu

Model Name: F-03K

Hereby, Fujitsu Connected Technologies Ltd. declares that the RE product of "F-03K" is in compliance with RED 2014/53/EU.

The full text of the EU DoC is available at the following internet address:

<https://www.fmworld.net/product/phone/doc/>

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR^{*1} limits^{*2} for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR^{*1} value, when tested for compliance against the standard was 0.704W/kg^{*3} for HEAD and 1.271W/kg^{*3} for BODY. While there may be differences between the SAR^{*1} levels of various phones and at various positions, they all meet^{*4} the EU requirements for RF exposure.

*1 The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

*2 The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*3 Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave.

*4 Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Radio type/ Description		Transmitter Frequency	Maximum Output Power
GSM	GSM900	880-915MHz	33.5dBm
	DCS1800	1710-1785MHz	30.5dBm
UMTS	FDD 1	1920-1980MHz	24.5dBm
LTE	FDD 1	1920-1980MHz	23.5dBm
	FDD 3	1710-1785MHz	23.5dBm
WLAN 2.4GHz	IEEE 802.11 b	2400-2483.5MHz	13.5dBm
	IEEE 802.11 g	2400-2483.5MHz	13dBm
	IEEE 802.11 n	2400-2483.5MHz	13dBm
WLAN 5GHz	IEEE 802.11 a	5150-5350MHz	13dBm
		5470-5725MHz	12.5dBm
	IEEE 802.11 n	5150-5350MHz	13dBm
		5470-5725MHz	12.5dBm
	IEEE 802.11 ac	5150-5350MHz	13dBm
		5470-5725MHz	12.5dBm
Bluetooth	Bluetooth	2400-2483.5MHz	10dBm
RFID	NFC	13.56MHz	-12dB μ A/ m@10m

The manufacturer of this product is Fujitsu Connected Technologies Ltd. with its registered place of business at 1-1, Kamikodanaka 4-chome, Nakahara-ku, Kawasaki, Kanagawa 211-8588, Japan.

◆ Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions :
 - ① this device may not cause harmful interference, and
 - ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.
- The device complies with 15.205 of the FCC Rules.

◆ FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S.

Government's requirements for exposure to radio waves.

This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to

prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 0.556 W/kg*, and when worn on the body, is 0.765 W/kg*. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at <http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/> (please search on FCC ID VQK-F03K). For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

- In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

- * Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception,

which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

◆ Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

Warning

This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

<Prevention of Hearing Loss>

Warning statement requirement under EN 60950-1:A12.



Warning: To prevent possible hearing damage, do not listen to high volume levels for long periods.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

◆著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

◆商標

- 「FOMA」「iモード」「iアプリ」「i モーション」「i チャネル」「i コンシェル」「しゃべってコンシェル」「トルカ」「おまかせロック」「mopera U」「ビジネスmopera」「WORLD CALL」「WORLD WING」「おサイフケータイ」「デコメ®」「デコメール®」「デコメ絵文字®」「かざしてリンク」「iD」「公共モード」「パケ・ホーダイ」「メロディコール」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「エリアメール」「spモード」「あんしんスキャン」「つながりほっとサポート」「dメニュー」「dマーケット」「dミュージック」「dTV」「あんしん遠隔サポート」「フォトコレクション」「はなして翻訳」「スゴ得コンテンツ」および「iチャネル」ロゴ「しゃべってコンシェル」ロゴ「トルカ」ロゴ「おサイフケータイ」ロゴ「エリアメール」ロゴ「つながりほっとサポート」ロゴ「dmenu」ロゴ「dマーケット」ロゴ「i コンシェル」ロゴ「あんしんスキャン」ロゴ、「あんしん遠隔サポート」ロゴ「フォトコレクション」ロゴ「はなして翻訳」ロゴ「スゴ得コンテンツ」ロゴ「データ保管BOX」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Document Viewerを搭載しています。ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。Copyright© 2017 ACCESS CO., LTD. All rights reserved. 本製品の一部分に  Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。 
-  はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHC  logo、microSDXC  logoはSD-3C、LLCの商標です。
- Google、Android、Google Playおよびその他のマークはGoogle LLCの商標です。
- Bluetooth® とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。
- この機器に搭載されている「UD新丸ゴ」フォントは株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。「UD新丸ゴ」は、同社の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Alliance、WMM、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi CERTIFIED  logo、WPA、WPA2、Wi-Fi Protected Setup、PasspointはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。 
- LINEおよびLINEロゴはLINE株式会社の商標または登録商標です。
- iWnn® OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2017 All Rights Reserved.
- その他の本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

◆その他

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
 - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画や i モーション (以下、MPEG-4 Video) を記録する場合
 - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
 - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC規格準拠のビデオ (以下「AVCビデオ」と記載します) を符号化するライセンス、および/または (ii) AVCビデオ (個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります) を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

◆ オープンソースソフトウェア

- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアに当社が必要な改変を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、次をご参照ください。

ホーム画面で [本体設定] ▶ [その他] ▶ [端末情報] ▶ [法的情報] ▶ [オープンソースライセンス]

オープンソースライセンスに基づき当社が公開するソフトウェアのソースコードは、下記サイトで公開しています。詳細は下記サイトをご参照ください。

<http://spf.fmworld.net/fujitsu/c/develop/sp/android/>

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

- 1** 他社SIMカードを取り付ける
- 2** 本端末の電源を入れる
- 3** SIMロック解除コードを入力
- 4** [ロック解除]

索引

ア行

アカウント	108
削除	108
手動同期	108
追加	108
アクセスポイント	101
確認	101
初期化	102
追加	101
新しいAPN	101
アフターサービス	124
アプリ	32
アップデート	127
アンインストール	72, 112
インストール	71
カテゴリ別アプリ	33
基本アプリ	32
キャッシュ消去	112
削除	112
データ消去	112
無効化	112
アプリケーション	112
アプリケーションの履歴を表示しない	114
アプリの権限	27
アラーム音量	98
アルバム	84
表示／再生	84
あわせるボイス	45
あんしん遠隔サポート	124
位置情報サービス	85
いつでもズーム	96
印刷	111
インターネット	63
ウィジェット	35
内側カメラ	19
運転中モード	94
英語ガイドンス	47
エコモードの設定	107
エラーメッセージ	123
エリアメール	62
削除	63
受信	62
設定	63
表示	62
遠隔操作設定	47
オープンソースソフトウェア	135

おサイフケータイ	72
おサイフケータイ ロック	74
お知らせタイマー	89
お知らせランプ	19, 28
音・振動・タッチの設定	97
音声入力	37
音量ボタン	19

カ行

海外利用	
確認事項	116
帰国後の確認	119
設定	116
滞在先で電話を受ける	118
滞在先で電話をかける	117
通信サービス	115
外部機器接続	70
外部接続端子	19
拡大鏡	81
各部の名称と機能	19
仮想プライベートネットワーク	103
カメラ	78
位置情報	80
拡大鏡	81
撮影サイズ	79, 82
撮影時の注意事項	78
スマイルムービー	80
静止画撮影	79
静止画撮影設定	79
静止画（写真）撮影画面	78
タイマー	80
タッチシャッター	80
動画撮影	82
動画撮影設定	82
動画（ビデオ）撮影画面	78
撮った写真を見る	80
撮ったビデオを見る	82
パノラマ撮影	81
フラッシュ	79
便利機能	79, 82
保存先切替	80, 82
ライト	82
QRコード読み取り	83
カメラキー長押し動作の切替	110
カメラボタン	19
画面の明るさ	96
画面の自動回転	96
画面メモ	65
画面ロック音	99
画面・ランプの設定	95
簡単モード切替	94

機内モード	95
キャッチホン	47
緊急速報「エリアメール」	62
緊急通報	42
近接センサー	19
検索	90
公共モード（電源OFF）設定	47
高度な設定	112
国際電話（WORLD CALL）	43
国際ローミング（WORLD WING）	115
ネットワークサービス	119

サ行

時刻	110
自分から設定	109
自分の電話番号	51, 94
写真撮影	79
写真表示	84
しゃべってコンシェル	72
充電	23
充電時の振動	99
充電端子	19
充電通知音	99
受話口	19
仕様	127
消灯までの時間	96
照度センサー	19
商標	133
使用履歴にアクセスできるアプリ	113
初期化	110
初期設定	28
新着通知	31
スグ電	48
スクリーンショット	27
スクリーンセーバー	97
スケジュール	88
予定の登録	88
予定の表示	88
ステータスアイコン	30
ステータスバー	30
ステータス表示エリア	30
ステレオイヤホン端子	19
ストラップホール	19
スピーカー	19
スライド	26
スリープモード	25, 96
スワイプ	26
静止画補正	97
セキュリティの設定	103
セキュリティロック	104
かける	105

設定メニュー	93
送話口	19
外側カメラ	19
ソフトウェアアップデート	126
自動ダウンロード	127
即時更新	127

タ行

ダイヤルパッド操作音	98
タスク管理	26
タッチ	26
タッチ時の振動	98
タッチ操作	98
操作音	98
タッチパネル	19
使いかた	26
タッチ／タッチ操作	
うっかりタッチサポート	98
タップ&ペイ	73
端末情報	111
地図	85
現在地	85
検索	85
知的財産権	133
着信拒否	43
着信通知	47
チャンネルリスト	77
著作権・肖像権	133
通信の設定	99
通知アイコン	30
通知音	98
音量	98
通知パネル	31
通知へのアクセス	113
通話音量	44
通話メモ	46
使いかたガイド	35
提供元不明のアプリ	106
定型文	39
ディスプレイ	19
縦／横画面表示の切り替え	26
データ使用	101
手書き入力	37
テキスト読み上げの出力	113
テザリング	102
Bluetoothテザリング	103
USBテザリング	102
Wi-Fiテザリング	102
デバイス管理機能の選択	113
テレビ	75
起動	75

終了	75
設定	77
チャンネルリスト	77
テレビリンク	76
テンキーキーボード	36
入力方式	39
電源ボタン	19
電源ボタンで通話を終了	47
電源を入れる	25
電源を切る	25
伝言メモ	43, 46
転送でんわサービス	47
電卓	89
電池	
充電	23
寿命	23
電池残量警告音	99
電池の最適化	114
電池の使用量	113
電池パック	22
取り付け	22
取り外し	22
電話	
受ける	43
かける	41
サブアドレス設定	47
スグ電設定	48
着信拒否設定	47
追加番号を入力して発信	42
発着信履歴	45
電話帳	49
グループ	50
検索	50
削除	50
登録	50
編集	50
電話の設定	47
電話・メール着信時の設定	97
振動	97
着信音	97
着信音量	97
動画補正	97
動画（ビデオ）撮影	82
どこでもヘルプ	36
ドコモデータコピー	90
データ移行	90
データ保管BOXへ保存・復元	91
microSDカードへ保存・復元	90
ドコモのサービス／クラウド	107
ドコモへのお問い合わせ	47
ドコモメール	52

ドコモnanoUIMカード	20
取り付け	20
取り外し	20
トップ画面	25
解除	25
設定	95
ドラッグ	26
トラブルシューティング	120
トルカ	74

ナ行

入力方法	
音声入力	37
切替	38
手書き入力	37
テンキーキーボード	36
認証情報	106
インストール	106
消去	106
表示	106
ネットワーク暗証番号	104
ネットワークサービス	47
ネットワークサービス（海外）	119

ハ行

配色テーマの設定	96
背面マイク	19
バケット接続の停止	101
パスワード表示	105
パソコンメール	57
アカウント設定	57
作成・送信	57
受信	58
新着問い合わせ	58
設定	59
送受信履歴	59
転送	59
表示	58
返信	59
はっきりボイス	44
バックアップ・リセット	110
発信者番号通知	47
発信者番号通知／非通知	42
パノラマ撮影	81
パン	26
番号通知お願いサービス	47
非常用節電モード	27
日付	110
ぴったりボイス	44
ビデオコール	
受ける	43

かける	41	署名設定	56
ビデオ再生	84	新着問い合わせ	53
ビデオ撮影	82	設定	56
響カット	45	送受信履歴	55
ピンチ	26	転送	55
ファミリーページ	67	添付ファイル操作	54
フォント設定	96	テンプレート	52
ブックマーク	64	表示	53
登録	64	表示設定	55
ホーム画面に貼付	64	フォルダ操作	53
ブラウザ	63	返信	55
画像を保存	65	メーラー一覧操作	54
画面の操作	63	メール詳細画面操作	54
画面メモ	65	例文	56
キーワード	64	目覚まし	89
詳細設定	66	メッセージR	56
設定	65	メッセージS	56
ホームページの設定	66	メディア音量	98
文字の大きさ	65	メモ	87
履歴	64	作成／編集	87
リンクの操作	65	表示	87
URL入力	64	メモリ容量の確認	109
Webページの表示	64	文字入力	36
フラッシュ	19	絵文字	38
フリック	26	音声入力	37
分割画面	32	顔文字	38
防水／防塵、耐衝撃性能	15	学習内容の消去	39
ホーム画面	29	記号	38
設定	95	機能メニュー	36
見かた	29	コピー／切り取り	38
ホーム画面切替	29	設定	39
ホームボタン	19	単語登録	39
保証	124	定型文	38
歩数計	92	定型文登録	39
仮想コース	92	入力方式	39
睡眠	92	入力方法	36
睡眠計測	92	入力方法の切替	39
歩行	92	貼り付け	38
保存領域	109	文字変換	37
		Super ATOK ULTIAS設定	40
		持ってる間ON	97

マ行

マイク	19
マナーモード	94
水抜き	17
迷惑電話ストップサービス	47
迷惑電話対策	47
迷惑電話対策機能	46
メール	52
作成・送信	52
受信	52
受信設定	55

ヤ行

ユーザー補助	112
輸出管理規制	133
ゆっくりボイス	45

ラ行

ライト	19
らくらくコミュニティ	66
らくらくホンセンター	35

らくらく迷惑メール判定	53	変更	105
ランプの設定	96	PINロック解除コード (PUK)	104
リアカバー	19	PINロックの解除	105
リセット	110	Playストア	71
利用アプリの固定	113	QRコード読み取り	83
留守番電話サービス	47	SAR	129
ロック解除時の振動	99	SIMカードロック	105
ロック画面		SIMのステータス	113
解除	105	SIMロック解除	135
解除方法変更	104	Smart Lock	114

ワ行

ワンセグアンテナ	19, 75
ワンタッチダイヤル	47
使う	47
登録	47

英数字・記号

Androidビーム	69
APN	101
Bluetooth アンテナ部	19
Bluetooth通信	68
接続	68
接続解除	69
データ受信	68
ペア設定	68
ペアリング解除	69
BluetoothLE設定	69
dマーケット	71
dメニュー	71
FAQ	120
FOMAアンテナ部	19
Gmail	60
Google	108
音声検索	90
検索	90
Google マップ	86
GPSアンテナ部	19
GPS機能	85
iDアプリ	74
LTEアンテナ部	19
microSDカード	21
データ消去	109
取り付け	21
取り外し	21
フォーマット	109
NFC設定	69
NFC通信	69
PINコード	104
設定	105
入力	105

SMS	61
作成・送信	61
受信	61
設定	62
ドコモnanoUIMカード内SMS	62
表示	61
返信	61
SIMカードのSMS表示	62
VPN	103
接続	103
切断	103
追加	103
Wi-Fi	99
簡単登録	100
詳細設定	100
接続	99
切断	100
追加	100
Wi-Fiアンテナ部	19
WORLD CALL	43
WORLD WING	115

オンラインでの各種手続き・ご利用データ量・ ご契約内容の確認・各種手続きなど

本端末から [dメニュー／検索]▶[お客様サポート]
▶「オンライン手続き」の[開く]

パソコンから My docomo
(<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>)

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用にできない場合があります。
- 「ドコモオンライン手続き」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID／パスワード」が必要 です。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

- 使用禁止の場所にいる場合
航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

- 運転中の場合
運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。
- 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

- レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさに気を付けましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

- カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

- 駅のホームや道路などで歩きながらスマートフォンを使用すると、視野が極端に狭くなり、接触事故の原因となります。
- スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

- 公共モード（電源OFF）→p.47
電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。
- 運転中モード→p.94
電話に出られない旨を発信者にガイダンスでお知らせします。
- 振動→p.97
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。
- マナーモード→p.94
着信音や操作音など端末から鳴る音を消すことができます。
※ただし、シャッター音は消せません。
そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。→p.47



モバイルリサイクルネットワーク
RECYCLING FOR MOBILE

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収していますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

総合お問い合わせ先
(らくらくホンセンター)

■携帯電話／一般電話共通

(5くらぐ) (みんな)

☎ 0120-6969-37

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9：00～午後8：00 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。

ドコモのホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

☎ (局番なしの) 113 (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

☎ 0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

海外からのお問い合わせ先 (紛失・盗難・つながらない場合など)

■ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示 **-81-3-6832-6600** (無料)

(「+」は「0」をロングタッチします。)

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話
アクセス番号 **-81-3-6832-6600** (有料)

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間(年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。



ドコモ「あんしん」MISSION

みんなが、安心を、携帯できる世の中へ。



マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元 株式会社NTTドコモ

製造元 富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社



Li-ion 00



危険です、
歩きスマホ。